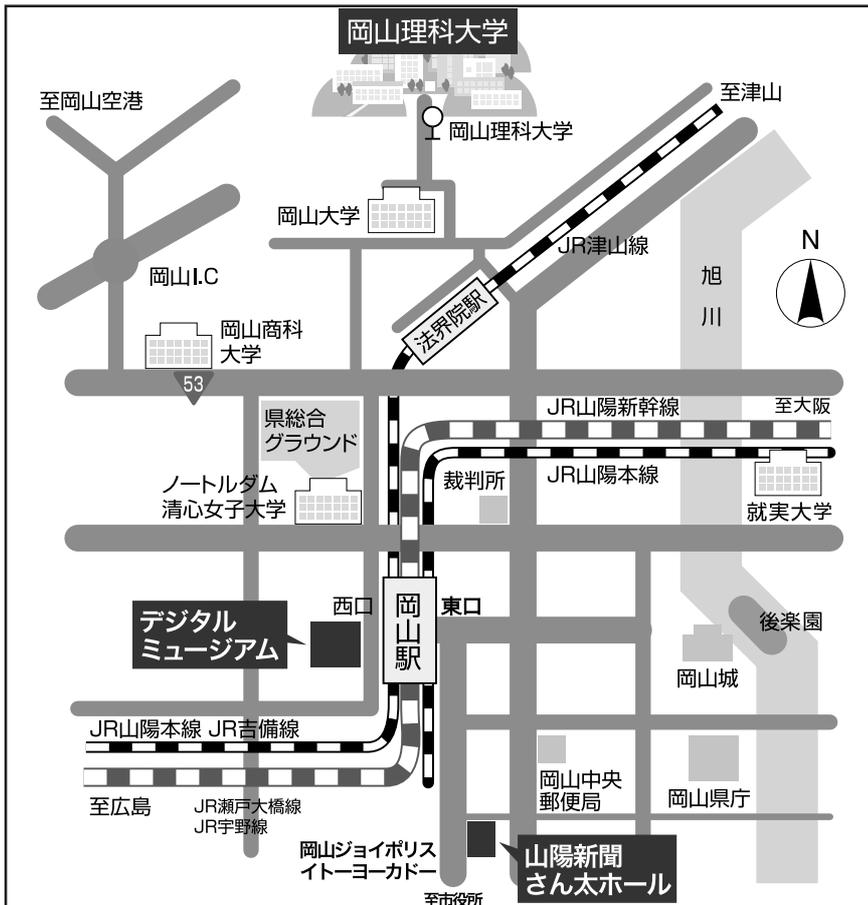


# 日本地質学会第116年学術大会プログラム

期 日 2009年9月4日（金）～9月6日（日）

会 場 岡山理科大学 ほか



## 会場への交通機関のご案内

- 一般発表、シンポジウム、特別講演会、表彰式・記念講演会、関連普及行事・生徒「地学研究」発表会：岡山理科大学25号館（岡山市北区理大町1-1）
- 地質情報展2009おかやまーワクワク・発見・瀬戸の大地ーほか：岡山市デジタルミュージアム 4階（岡山市北区駅元町15-1）
- 市民講演会「大地から考える地球環境ー地質と生物・農業の深い関係ー」：さん太ホール（岡山市北区柳町2-1-1）

岡山理科大学への行き方は以下の通りです。

### <徒歩の場合>

JR津山線法界院駅から徒歩約25分。

※4日（金）のみ、法界院駅8：10着（岡山駅8：06発）の方のためにバスを運行します（一度に乗れない場合には複数回往復します）。

### <岡電バス利用の場合>

岡山駅西口バス乗場から岡山大学経由岡山理科大学正門行（約20分，190円）。

※4日（金）7：55～8：45は5分間隔でバスが発発しますが、附属高校の通学時間（7：55～8：20）と重なり混雑が予想されます。そこで、4日（金）のみ、8：00発の学会専用直通バスを運行します（講演者優先，200円，会場までの直行便です）。なお岡電バス定期路線ではJR西日本のICOCA、PiTaPa、Harecaが使用できます（SUICA、TOICAには対応していません）。

### <乗用車利用の場合>

岡山ICから約10分：大学付近の教職員用駐車場を無料解放しますのでご利用下さい。利用時間は8：00～20：00です。20：00以降はレバーが降りて出ることができません。翌日の利用時間帯に出すことができます。



## 日本地質学会第116年学会各賞表彰式・記念講演

9月4日(金) 14:30~17:45 会場:岡山理科大学25号館8階ホール

### プログラム

- 14:30-15:30 新名誉会員, 50年会員顕彰式, 各賞授与式  
15:30-15:50 日本地質学会小澤儀明賞受賞スピーチ  
小宮 剛氏「いろいろやってみる-地球生命環境史の総合解説-」  
須藤 斎氏「忘れられていた珪藻化石-キートケロス属休眠胞子化石-」  
15:50-16:00 日本地質学会柵山雅則賞受賞スピーチ 水上知行氏「小さな石」  
16:00-16:35 日本地質学会国際賞受賞記念講演 太田昌秀氏「私の北極・南極」  
16:35-17:45 日本地質学会賞受賞記念講演 鳥海光弘氏「レオロジーと岩石学, そして地球内部ダイナミックス」  
石渡 明氏「オフィオライトと東北アジアの地質学的研究」

## 懇親会

9月4日(金) 18:00~19:30 会場 岡山理科大学20号館1階食堂

原則として予約制です。予約はFAXによるお申し込みを8月10日, オンラインによるお申し込みを8月17日に締め切ります。会場受付で確認し, 当日参加の申込みをしてください。その場合の会費は, 正会員・非会員(一般)6,000円, 名誉会員・院生割引会費適用正会員・学生会員(会員の家族および非会員院生・学生舎)は3,000円です。

## 当日の受付について

事前参加登録につきましては, FAXによるお申し込みを8月10日, オンラインによるお申し込みを8月17日に締め切ります。各締切日までの多数のご登録をお待ちしております。事前登録者には, 締切後, (株)日本旅行よりお支払いの確認が取れている方へ参加証(名札)と予約確認書(兼引換券)をお送り致します。大会開催1週間前には参加者の皆様のお手元に届くようお送り致します。お支払いの確認が取れていない方へはご送付できませんので, 皆様の入金期日厳守を何卒宜しくお願いいたします。当日は, 受付を行いますので, 忘れずにご持参ください。

### \*事前参加登録者:『予約確認書(兼引換券)』をご持参の方

事前登録者用受付にて, 『予約確認書(兼引換券)』に記載されている項目ごとに受付して下さい。

受付にてネームカードホルダーをお渡しますので『参加証(名札)』を入れ, 大会期間中は身に付けてください

1. 参加登録(全員)→ネームカードホルダーの配布。要旨付きの場合は, 要旨の配布
2. 講演要旨追加購入(予約購入者のみ)→要旨の配布
3. 見学旅行(参加者のみ)→名簿確認と参加最終確認
4. 見学旅行案内書(予約購入者のみ)→案内書の配布
5. 懇親会(参加者のみ)→名簿確認

### \*事前登録をしていない方

1. 当日参加者として参加登録をする。備え付けの『参加登録票』に必要事項を記入し当日用受付へ。
2. 当日参加登録費(講演要旨集付きです。要旨集が不要の場合でも割引はありません)  
正会員:9,500円  
院生割引会費適用正会員:6,500円  
名誉会員・50年会員・学生会員・非会員学部学生:500円(講演要旨は付きません)  
非会員(一般・院生):15,000円
3. 講演要旨当日販売  
会 員:4,000円  
非会員:5,500円
4. 見学旅行案内書当日販売(ただし, 残部がある場合に限る)  
正会員・非会員(一般):2,800円
5. 懇親会の当日参加費(ただし, 人数に余裕がある場合に限る)  
正会員・非会員(一般):6,000円  
名誉会員・院生および学生会員(家族および非会員院生・学生舎):3,000円

## 見学旅行・案内書について

参加および案内書事前予約申込みはFAXによるお申し込みを8月10日、オンラインによるお申し込みを8月17日に締め切ります。大会ホームページに参加者への連絡などを随時掲載しています。<<http://www.geosociety.jp>>

見学旅行案内書は、CD-R版を115巻12号（2009年12月号）に添付して会員に配布する予定です。また、地質学雑誌の一部となっていますので、発行から3ヶ月目にはJ-STAGE<<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>>にて公開をいたします。さらに、冊子も並行して発行し、1部2,800円で販売いたします。事前予約は8月17日締め切りですが、残部がある場合に限り、学会会期中に受付で販売いたします。

## 新企画！見学旅行コース紹介

日時：9月6日（日）14：00～16：30  
会場：講演会場44（25号館4F）



9月7日からの岡山大会見学旅行各コースのダイジェストを案内者にご紹介頂きます。見学旅行に参加される方は事前の予習として、また参加されない方も、このダイジェストで全コースの巡検気分を味わってみてはいかがでしょうか。是非ご参集ください。なお、会期中、年会会場内に各コース紹介のポスターも掲示する予定です。こちらもあわせてご注目下さい。

## 企業等団体展示／書籍展示販売

企業・団体・研究機関などによる展示を行います。会場は、岡山理科大学25号館1F室を予定しています。6月30日現在、株式会社アイ・エヌ・エー、独立行政法人海洋研究開発機構高知コア研究所、林原自然科学博物館、株式会社蒜山地質年代学研究所、メイジテクノ株式会社、株式会社ワイビーエム、から申し込みがありました。

岡山理科大学25号館7F総合受付横では書籍・物品の展示販売コーナーを設けます。6月30日現在、株式会社古今書院、財団法人 東京大学出版会からお申込みがありました。

※申込期限延長、追加募集等がある場合もありますので、随時大会ホームページをご覧ください。

## 大会期間中のお食事について

岡山理科大学周辺には飲食店等はありません。お弁当予約販売もしくは学内施設等をご利用下さい。

○お弁当予約販売：1個800円、お茶付き  
申込締切 オンライン：8月17日（月）18：00、  
FAX（郵送）：8月10日（月）必着

○大学食堂（20号館）：9月4日（金）、5日（土）営業しています。

○コンビニエンスストア（22号館1階：会場から徒歩3分）：毎日営業しています。



## 就職支援プログラム

本プログラムは、学会に参加される学生・院生および大学教官の会員、ならびに岡山理科大学・岡山大学の学生・院生・関係者らを対象に、本会賛助会員をはじめとする関連会社との相互の情報交換を行う場を提供しようというものです。ぜひご参加いただきますようご案内をいたします。

日程：9月5日（土）14：00-17：00

場所：岡山理科大学25号館1F

主催：日本地質学会

内容：主催者等 挨拶・紹介、参加各社による数分のプレゼンテーション、参加各社の個別説明会

対象：岡山大会に参加する学生・院生および大学教官等の会員・岡山理科大学・岡山大学の学生・院生および教官等

参加費：無料

問い合わせ先：向山 栄（担当理事）/橋辺菊恵（事務局）

電話 03-5823-1150 FAX：03-5823-1156

e-mail：main@geosociety.jp

## プレス発表を希望される方へ

岡山大会での講演や行事について、8月下旬にプレス発表を行う予定です。

昨年の秋田大会でも多数のメディアに取り上げられ、会員の皆様の研究成果が多いに注目されました。岡山大会で発表される予定の案件で、学会からのプレス発表をご希望の方は、8月10日（月）までに学会事務局にご連絡下さい。全ての案件をプレス発表することはできませんが、社会への情報発信として特筆すべき成果は積極的に公表して行きたいと考えております。会員の皆様におかれましては、プレスリリース解禁日をお守りいただき、公平かつ効果的な情報発信にご協力下さい。

登録締切：8月10日（月）

プレス発表（投げ込み）：8月21日（金）

現地説明会（解禁日）：8月28日（金）（予定）

連絡先：<[journal@geosociety.jp](mailto:journal@geosociety.jp)>

（情報特任理事 倉本真一）

## 難問に挑戦！ 学会ポスター 岩石名・地層名当てクイズ

大会ポスター（本誌裏表紙参照）桃太郎の衣服などは地層や岩石写真をパッチ状に貼り付けたものです。以下のクイズに挑戦した方の正解者には大会ポスターを贈呈します。

問題) 以下に記した衣服部分などの地層名・岩石名を当て下さい。

- ・足：
- ・すね：
- ・袴：
- ・刀の柄：
- ・吉備団子の入れ物（袋）：

方法)

- 1 会場入口の受付デスクに準備した解答用紙に記入する。
- 2 記入した解答用紙を受付デスクのクイズ担当者に提出する（5日と6日のランチタイム）
- 3 1つ以上正解した方にポスターを贈呈



## 発表者へ

一般講演の発表者は招待講演、一部のシンポジウムを除いて本学会の会員に限ります（共同発表の場合は筆頭者に適用）。また、やむを得ない事情により、あらかじめ連記された共同発表者内で筆頭者の変更を希望する場合は、必ず事前に行事委員会（会期前は学会本部へ、会期中は学会本部事務局へ）に連絡して下さい。この場合も、シンポジウム以外の場合は「会員に限り1人1題」の発表制限は守るものとします。代理人による代読、発表会場内での突然の発表者変更、発表順序の変更は一切認めませんのでご注意ください。とくに口頭発表者の方には発表時間の厳守をお願いいたします。発表に際しては座長の指示に従い、会場の運営がスムーズに行われるようご協力下さい。

### ●口頭発表

- ・1題15分（討論時間を含む）ただし、シンポジウムは除く
- ・口頭発表会場には液晶プロジェクターとWindowsパソコン（OS: Windows XP およびVista対応、Microsoft Office PowerPoint 2003-2007 対応）を用意します。なお、35mmスライドプロジェクターの使用はできません。

### 【講演ファイルをUSBメディアでご持参の方】

口頭発表で使用するファイルのインストールは、PCセンター（試写室）【25号館5階】にて事前に作業を行ってください。 インストールは各セッション・各シンポジウム開始30分前までに25号館5階PCセンター（試写室）で受け付けます。なお、大会初日9月4日午前に発表される方についても、～8:30までPCセンターにて受け付けます。混雑が予想されますので講演直前にならないよう、十分な時間的余裕を持って確実に行ってください（午前中のセッションであれば前日に、午後のセッションであれば午前中にインストールを完了してください）。ファイルは、PCセンターにおいて正常に作動することを事前に確認してください。特に、会場に設置するものと異なるバージョンで作成されたパワーポイントファイルは、レイアウトが崩れる事例が報告されていますのでご注意ください。なお、ファイル名には、発表番号と筆頭演者ご氏名をご使用ください。（例：S-1岡山太郎、O-12吉備次郎）

### 【ご自分のパソコンを使用して講演をされる方】

本年は会場の液晶プロジェクターにパソコンの切り替え器（ケーブル形状はD-SUB15ピン）を用意します。Macパソコンをお使いになる方、ソフトの互換性からレイアウトが崩れる可能性のある方、パワーポイント以外のプレゼンテーションソフトをご利用の方はご自分でパソコンをご用意ください。各会場のプロジェクターの解像度設定はXGA（1024×768）です。講演前にご自身の出力調整を済ませて接続してください。Macパソコンをお使いになる方は、必ずD-SUB15ピンへのアダプターを持参してください。パソコンの接続については、発表者自身が責任を持って実施して下さい。切り替えは会場スタッフにて行います。

### ●ポスターセッション

- ・掲示する際のチェスピンは準備いたします。粘着テープのご利用はできませんので、ご了承ください。
- ・展示時間は、9:00-17:00です。 展示準備は早めをお願いします。撤収は、18:00までにお願いします。
- ・コアタイムは、4日（金）が12:30-13:30、5日（土）と6日（日）が13:00-14:00です。 この時間は必ずポスターに立ち会い、その他の時間は各自の都合によって随時行って下さい。

- ・ボード面積は90cm×210cm（ヨコ×タテ）です。
- ・発表番号・発表題名・発表者名をポスタータイトルとして、必ず明記して下さい。
- ・コンピューターやビデオを使用される場合、機器の準備は各自で行ってください。電源は確保できませんので、予備バッテリーをご準備下さい。
- ・ポスター発表に対し、別記の要領にて優秀ポスター賞が授与されます。奮ってご準備下さい。

### 優秀ポスター賞について

学会講演での優秀ポスターに対して賞を授与いたします。この賞は学会で発表される全ポスター発表の中から、選考委員会の審査に基づき、日本地質学会長から大会開催中に授与されるものです。

- 本賞は、毎日3～5件の発表講演に対して授与される。
  - ・学会長から受賞者に直接賞状の授与（表彰と写真撮影）。
  - ・受賞ポスターは、その荣誉をたたえ、大会期間中、別途設けられたボードに掲示。
  - ・News誌11月号（年會報告記事）において氏名、課題名、受賞事由等が公表。
- 審査は選考委員会によって行い、学会長がこれを承認する。
  - ・選考委員会は、大会期間中毎日召集され、行事委員会委員5名、大会事務局代表1名および各賞選考委員会委員2名の合計8名から構成される。なお、選考委員氏名リストは学会終了後のNews誌11月号にて公表。
- 審査基準の項目
  - （発表様式）
    - ・美しいポスターか／レイアウトはわかりやすいか／斬新であるかどうか
  - （内容）
    - ・発表内容の妥当性はあるか／発表内容にオリジナリティがあるか
- 受賞発表の時期と方法
  - ・発表は、16:00以降に行う。表彰は決定後直ちに、ポスター会場で行う。（なお、4日の受賞のみ表彰式・記念講演会終了後、会場にて行う予定）
  - ・ポスター会場：受賞ポスターに「花」をつける。
  - ・口頭セッション会場：各日の最終講演後に審査結果を公表する。

### “緊急展示”の申し込みについて

学会活動の一端を広く社会に紹介するとともに、ホットなテーマについて議論する場を提供するために、災害報告や社会的に影響のある新技術紹介などの「緊急展示コーナー」を設けます。**ポスター展示を希望する方は、8月21日（金）までに**以下の内容で下記にご連絡ください。

- 1) 発表要旨PDF（ニュース誌4月号参照）
- 2) 緊急展示の必要性
- 3) 発表代表者と連絡先
- 4) 希望枚数（1枚：幅90×210cm）
- 5) 展示に関わる要望（2～5の様式は自由）

実行委員会は行事委員会と協議し、可否の判断を致します。希望にはできるだけ応えるようにしますが、展示方法等については実行委員会の指示に従ってください。

申込先 main@geosociety.jp

担当 鈴木茂之（岡山大会実行委員会）・上野将司（行事委員会）

# 全体日程表

発表方法	9月4日(金)			9月5日(土)			9月6日(日)			
	AM 9:00-12:00	PM 13:30-14:30	14:30-17:45	18:00-19:30	AM 9:00-12:00	PM 14:00-17:30	18:00-20:00	AM 9:00-12:00	PM 14:00-17:30	13:00-14:00
講演会場	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール	ホール
収容人数	487	487	487	487	487	487	487	487	487	487
発表方法	AM 9:00-12:00	PM 13:30-14:30	14:30-17:45	18:00-19:30	AM 9:00-12:00	PM 14:00-17:30	18:00-20:00	AM 9:00-12:00	PM 14:00-17:30	13:00-14:00
講演内容	20. 変成岩 9:00-12:00 O199-210	<特別講演> 13:30-14:30			(6) 都城シンポ 9:00-12:00 S46-53	20. 変成岩 14:00-17:30 O211-224		(5) 坂野シンポ 9:00-12:00 S38-45	(4) 日本列島 14:00-17:00 S29-37	
	26. 第四紀地質 9:30-12:00 O266-275				(1) 「ちきゅう」総括 9:00-12:00 S1-9	26. 第四紀地質 14:00-17:00 O276-287	南極	(7) 3次元地質モデル 9:00-12:00 S54-60	<見学旅行コース紹介> 14:00-16:30	
	5. 地域地質 9:00-12:00 O42-53				5. 地域地質 14:00-17:30 O54-67	5. 地域地質 14:00-17:30 O54-67	沖積	(8) 科学を文化に 9:00-12:00 S61-67	25. 地学教育 14:00-15:45 O259-265	
	24. 応用地質 9:00-11:15 O250-258				(3) 高Mg安山岩 9:00-12:00 S23-28	19. 深成岩・火山岩 14:00-15:45 O180-186	考古学	(2) 中国地方 9:00-12:00 S10-22	19. 深成岩・火山岩 14:00-17:00 O187-198	
	16. ノンテクトニクス 11:15-11:45 O158-159					4. IBMの発生と進化 14:00-17:15 O29-41	地質学		21. 岩石鉱物一般 14:00-15:30 O225-230	
	15. テクトニクス 9:00-12:00 O139-150					15. テクトニクス 14:00-15:45 O151-157	構造地質		13. 破壊と変形 14:00-17:00 O126-135	
	8. 砕屑物 10:00-11:30 O80-85					12. 石油・石炭 14:00-14:45 O117-119	海跡湖	11. 堆積作用 9:00-12:00 O103-114	11. 堆積作用 14:00-14:30 O115-116	
	2. ジュラ系十 9:30-12:00 O13-22					3. 「ちきゅう」 14:00-15:30 O23-28	ジュラ系十	17. 古生物 9:00-12:00 O160-171	17. 古生物 14:00-14:45 O172-174	
						23. 環境地質 14:00-17:15 O231-243	環境	23. 環境地質 14:00-15:30 O244-249	23. 環境地質 14:00-15:30 O244-249	
						1. 希ガス年代測定 14:00-17:20 O1-12	若手		<JAMSTEC講演会>	
ポスター	ジュラ系十 地域地質 テクトニクス 四紀地質	変成岩	応用地質	第	都城シンポ ちきゅう 付加体	炭酸塩 堆積相 火山岩	石油石炭 堆積作用 地学教育 (1件)	中国地方 情報地質	日本列島 地学教育	坂野シンポ 地学教育
その他										

## ■ セッション・世話人一覧 ■

### ■シンポジウム（8件）

- 1) 「ちきゅう」による南海トラフ地震発生帯掘削計画ステージ1と2の成果（総括）（J-DESC共催）  
木下正高・芦 寿一郎・木村 学・齊藤実篤・山口飛鳥・氏家恒太郎・坂口有人\* (arito@jamstec.go.jp)
- 2) 中国地方における新生界の諸問題：新たな地平をめざして  
沢田順弘\* (sawada@riko.shimane-u.ac.jp)・酒井哲弥・入月俊明・尾崎正紀・松原尚志
- 3) 高Mg安山岩とアダカイト  
巽 好幸\* (tasumi@jamstec.go.jp)・田村芳彦
- 4) Geotectonic subdivision and evolution of the Japanese Islands: A reappraisal (岡山理科大学オープンリサーチセンター共催・英語での講演推奨)  
和文表題：日本列島構造発達史  
磯関行雄\* (isozaki@ea.c.u-tokyo.ac.jp)・丸山茂徳
- 5) A special symposium to honor Shouhei Banno (岡山理科大学オープンリサーチセンター共催・英語での講演推奨)  
和文表題：坂野昇平追悼シンポジウム  
平島崇男\* (hirajima@kueps.kyoto-u.ac.jp)・榎並正樹
- 6) 都城秋穂追悼シンポジウム (岡山理科大学オープンリサーチセンター共催)  
丸山茂徳\* (smaruyama@geo.titech.ac.jp)・磯関行雄
- 7) 3次元地質モデルの構築手法と利活用 (情報地質学会共催)  
升本真二・木村克己\* (k.kimura@aist.go.jp)・根本達也・古宇田亮一
- 8) 科学を文化に－学校教育・地学分野のこれから－ (地学教育学会共催)  
藤林紀枝\* (fujib@ed.niigata-u.ac.jp)・芝川明義・三次徳二・矢島道子・七山 太

### ■トピックセッション（4件）

1. 希ガス年代測定－地質科学への貢献－ (日本地球化学会共催)  
兵藤博信\* (hhyodo@rins.ous.ac.jp)・郷津知太郎
2. ジュラ系+ (読み方：ジュラケイプラス)  
松岡 篤\* (matsuoka@geo.sc.niigata-u.ac.jp)・堀 利栄・小松俊文・近藤康生・尾上哲治・石田直人
3. 「ちきゅう」による南海トラフ地震発生帯掘削計画ステージ1と2の成果  
坂口有人\* (arito@jamstec.go.jp)・齊藤実篤・氏家恒太郎・山口飛鳥
4. IBM (活動的海洋性島弧～背弧海盆) の発生と進化を探る  
新井田清信\* (kiyo@mail.sci.hokudai.ac.jp)・田村芳彦・石塚治

### ■定番セッション (22件)

5. 地域地質・地域層序 (地域地質部会・層序部会)  
吉川敏之\* (t-yoshikawa@aist.go.jp)・岡田 誠・斎藤 眞
6. 地域間層序対比と年代層序スケール (層序部会)  
里口保文\* (satoguti@lbn.go.jp)・岡田 誠
7. 海洋地質 (海洋地質部会)  
片山 肇\* (katayama-h@aist.go.jp)・徳山英一・芦 寿一郎・小原泰彦
8. 碎屑物組成・組織と続成作用 (堆積地質部会)  
太田 亨\* (tohta@toki.waseda.jp)・野田 篤
9. 炭酸塩岩の起源と地球環境 (堆積地質部会)  
山田 努\* (yamada@dges.tohoku.ac.jp)・松田博貴
10. 堆積相と堆積システム・シーケンス (堆積地質部会)  
中条武司\* (nakajo@mus-nh.city.osaka.jp)・片岡香子
11. 堆積作用・堆積過程 (現行地質過程部会・堆積地質部会)  
小松原純子\* (j.komatsubara@aist.go.jp)・北沢俊幸

12. 石油・石炭地質学と有機地球化学 (石油・石炭関係・堆積地質部会)  
大久保 進 (susumu.okubo@japex.co.jp)・金子信行
13. 岩石・鉱物の破壊と変形 (構造地質部会)  
西川 治\* (nisikawa@lfp03.mine.akita-u.ac.jp)・平内健一
14. 付加体 (構造地質部会)  
坂口有人\* (arito@jamstec.go.jp)・鎌田祥仁
15. テクトニクス (構造地質部会)  
大坪 誠\* (otsubo-m@aist.go.jp)・佐藤活志
16. ノンテクトニック構造 (応用地質部会・構造地質部会)  
柏木健司\* (kasiwagi@sci.u-toyama.ac.jp)・永田秀尚・村井政徳
17. 古生物 (古生物部会)  
平山 廉・北村晃寿\* (seakita@ipc.shizuoka.ac.jp)・太田泰弘・三枝春生・須藤 斎
18. 噴火と火山発達史 (火山部会)  
永尾隆志 (tnagao@yamaguchi-u.ac.jp), 石井英一・石塚吉浩
19. 深成岩・火山岩とマグマプロセス (火山部会・岩石部会共催)  
古川邦之 (kfuru@aichi-u.ac.jp)・齋藤 哲
20. 変成岩とテクトニクス (岩石部会)  
片山郁夫\* (katayama@hiroshima-u.ac.jp)・桑谷 立
21. 岩石・鉱物・鉱床学一般 (岩石部会)  
壺井基裕\* (tsuboimot@kwansei.ac.jp)・水上知行
22. 情報地質 (情報地質部会) ポスターセッションのみ、口頭講演なし  
能美洋介 (y\_noumi@big.ous.ac.jp)・坂本正徳
23. 環境地質 (環境地質部会)  
難波謙二・風岡 修・三田村宗樹・田村嘉之\* (tamura-yoshiyuki@pop07.odn.ne.jp)
24. 応用地質学一般 (応用地質部会)  
上野将司\* (ueno-shouji@oyonet.oyo.co.jp)・横田修一郎
25. 地学教育・地学史 (地学教育部会・地学教育委員会共催)  
矢島道子\* (pxi02020@nifty.com)
26. 第四紀地質 (第四紀地質部会)  
吉川周作\* (yoshi@sci.osaka-cu.ac.jp)・内山 高

■9月4日 (金) 午前

会場	ホール	講演会場 44	講演会場 43	講演会場 31	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-199 火山フロント直下の最上部マントル構造～カ ムチャヤク半島アパチャ火山かんらん岩捕獲岩 を例として、大原達也・道林克禎	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-200 夜久野オフィオライト侍ちの山かんらん岩の 微細構造発達, 鈴木慎人・道林克禎 9:30 O-201 キンバラライト捕獲岩の変形細織と含水量の 関連性, 片山郁夫・寺尾龍二・安東淳一・道林 克禎・小宮 剛 9:45 O-202 フェライトのテクトニクス, 小畑正明・清 水以知子 10:00 O-203 カンラン岩系の熱水変質実験, 西山忠男・田 上剛範・磯部博志 10:15 O-204 水熱反応によるシリカ析出様式と組織発達, 岡本 敦・最首花恵・平野伸夫・土屋範芳 10:30 O-205 部分溶融した地殻下部の変形, 宮崎一博 10:45 O-206 西アルプスのマイクログローブ構造を用いた た応力-歪解折, 大森康智・木村希生・岡本 敦・増田俊明 11:00 O-207 ドリパー断層帯の変成ポキサイト, 中 野伸彦・小山内康人 11:15 O-208 チベットの南部Kung Co地域における正断層に 伴う延性変形, 三石真祐暉・Simon Wallis 11:30 O-209 四国中央部三波川変成岩中に発達する北落ち 大規模D2正断層の証拠と構造発達史, 竹下 徹・八木公史・アブデルハミッド エルファク ハラニ・板谷徹丸 11:45 O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸		
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-253), 西山賢一 (254- 258) 9:00 O-250 トップリング発生斜面の特徴, 上野将司 9:15 O-251 四国に分布する地すべりのテテフラによる編 年, 西山賢一・北村真一・山崎健太・伊藤嘉将 9:30 O-252 来待石石塔の風化, 朽津信明 9:45 O-253 旧地形にそった火山性碎屑物の風化につい て, 井村隆介・篠原 恵・前田朋美 10:00 O-254 モデル実験での斜面崩壊, 山田泰広・山下佳 彦・山本由弦 10:15 O-255 松島巨大地すべり起源説, 長谷川修一 10:30 O-256 島根県大江高山地域の第四紀火山岩体を構成 する多様な岩相とそれに依存した斜面運動, 木 村健志・田村友紀夫・横田修一郎 10:45 O-257 西暦714年地震に伴う長野県南部遠山地域の 地震, 村松 武・寺岡義治・後藤 (桜井) 晶子 11:00 O-258 富山市八尾町桐谷周辺の地すべり, 小嶋 智・永田秀高・野崎 保・鈴木和博・池田晃 子・中村俊夫・山城屋誠一・棚橋亮太・大谷具 幸	
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 応用地質	
9:00	O-210 高浜変成岩の白雲母 <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 高木秀 雄・シエームス ハント・郷津知太郎・兵藤博 信	座長：藤原 治 (266-270), 嵯峨山積 (271-275) 9:30 O-266 藻琴湖の環境変遷, 瀬戸浩二・高田裕行・香 月興太・園田 武 9:45 O-267 北海道石狩平野の上部更新統～完新統層序と 古環境の検討, 嵯峨山積・外崎徳二・近藤務・ 岡村 聡・佐藤公則・藤原与志樹 10:00 O-268 甲田山田山代湿原コア試料からみた晩氷期以 降の古環境解折, 吉田明弘・小池豊子・篠崎鉄 哉・内田昌男・柴田康行・堀内一穂・箕浦幸治 10:15 O-269 中川・荒川低地の沖積層における堆積物の供 給と埋積作用, 下部厚志・本田孝子・木村克 己・田辺 晋・中西利典 10:30 O-270 千葉海浜幕張地域の沖積層, 加藤晶子・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・古野邦 雄・香川 淳・酒井 豊 10:45 O-271 羽田空港D滑走路における砂礫層, 金澤直 人・野口孝俊・細矢卓志・加藤史恵・大里重 人・遠藤邦彦・田中政典 11:00 O-272 駿河湾北岸の沈水イベントとプレート間地震 との関係, 藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・ 行谷佑一・澤井祐紀・守田益宗 11:15 O-273 更新世と中新世における赤色風化作用, 仲川 隆夫 11:30 O-274 上高地ポリーング, 原山 智・河合小百合 11:45 O-275 長野県, 野尻湖底立が鼻遺跡の化石・遺物包 有層の堆積環境-野尻湖層立が鼻砂部層の堆積 システムについて-, 西来邦章・野尻湖地質グ ループ	座長：吉川敏之 (42-45), 竹下浩征 (46-49), 林 慶一 (50-53) 9:00 O-42 北海道北部サロベツ原野における沖積層の水 理地質構造, 酒井彰彰・井岡聖一郎・石高洋二 9:15 O-43 蝦夷層群における統合層序, 西 弘嗣・高嶋 礼詩・山中寿朗・林 圭一 9:30 O-44 長岩一坂水沢地域の坂本沢層, 新谷友彦 9:45 O-45 秋田県由利本荘市に分布する上部鮮新統の堆 積環境, 鈴木俊之・石田 桂 10:00 O-46 放射年代に基づく日本マイロナイト帯の形 成時期, 高橋 浩・毛 健仁 10:15 O-47 朝日帯と阿武隈帯の境界, 大友幸子・横山一 己・青柳絵里子・堀川博貴・安藤子秀人・小野 貴之 10:30 O-48 新潟県北部の中新世リフト盆地形態: 東西性 地質構造要素による堆積システム規制と断層 岩, 石川夕夏子・栗田裕司・豊島剛志 10:45 O-49 新潟県中越地域のNW-SE走向断層から見た 柏崎一千葉構造線, 豊島剛志・平松 翠・神保 かほり・栗田裕司 11:00 O-50 両神山ナップの再検討, 山北 聡 11:15 O-51 富士川谷新第三系麓川層群の軟体動物化石群 集とその地質時代, 柴 正博・廣瀬祐市・延原 尊美・安田美輪・富士幸祐・篠崎泰輔 11:30 O-52 岐阜県南東部に分布する中新統瑞浪層群の地 史, 菅尾英嗣 11:45 O-53 西天田産 <i>Plicatiferina</i> , 田沢純一・栗原敏 之・安富潤子・梅田美由紀	座長：横田修一郎 (250-25	

9月4日 (金) 午前

会場	講演会場 42	講演会場 51	講演会場 55
	(定番) テクトニクス	(定番) 碎屑物組成・組織と続成作用	(トピック) ジュラ系十
	座長：大坪 誠 (139-142)、藤内智士 (143-146)、加藤直子 (147-150)	座長：太田 亨 (80-82)、堀内 悠 (83-85)	座長：堀 利栄 (13-17)、松岡 篤 (18-22)
9:00	O-139 断層岩類から見た関東山地北東縁における中央構造線の構造発達史、金山健太郎・小林健太郎	O-80 古土壌から読みとられる陸域環境の変化：天草諸島北部、始新統赤崎層の例、草場 敬・木村亨輝・佐野弘好	O-13 大学が実施する普及活動：新潟大学における頭足類展 (2008) を例にして、松岡 篤
9:15	O-140 大深度温泉井の掘削資料から推定される蕨山隆起帯北側地域の中新統葉山層群の地下地質構造—大規模伏在逆断層、江藤哲人・小沢 清	O-81 産状に基づくカルクリートノタイプ分け：天草諸島北部、始新統赤崎層を例として、木村亨輝・草場 敬・佐野弘好	O-14 下部ジュラ系豊浦層群西中山層より産出するCleviceras属の分類学的再検討、中田健太郎・松岡 篤
9:30	O-141 中部日本深部地殻構造研究の前進、伊藤谷生・狩野謙一・小嶋 智・岩崎貴哉・池田安隆・佐藤北呂志・平田 直・ハナヨトブロスマス・河本和朗・三宅康幸・大塚勉・山北聡・深畑幸俊・阿部信太郎・村田和則・早川信・駒田希充・津村紀子・佐藤利典・宮内崇裕・金田平太郎・橋間昭徳・川中 卓・須田茂幸・薄畑茂治・阿部 進	O-82 タイ国 Phu Kradung層中のカルクリート再堆積物、堀内 悠・久田健一郎・Charusiri Punya	O-15 鳥ノ巣式石灰岩産ジュラ紀中世放射状虫化石の再検討、石田直人
9:45	O-142 2008年三冬-弥彦沖線地殻構造探査の成果、佐藤北呂志・阿部 進・高橋明久・加藤直子・岩崎貴哉・石山達也・斎藤秀雄・白石和也・稲葉 充・深澤 光	O-83 四万十帯牟婁層群および日南層群産出のorthoquartzite, metaquartzite礫の特性、忽滑谷慶里・久田健一郎・小室光世	O-16 ペルム紀付加体吉テレレンのチャヤート-碎屑岩シームの織り返し構造とその意義、伊藤剛・松岡 篤
10:00	O-143 反射法地震探査による越後平野東縁下田丘陵の地質構造、加藤直子・佐藤比呂志・阿部 進・高橋明久・深澤 光・稲葉 充	O-84 中央ネパール、テナスヒマラヤの陸棚相下部三畳系に記録された貧酸素環境、吉田孝紀・大友和夫・川村寿郎・鈴木茂之・Dhital Megh Raji	O-17 日本のジュラ紀付加体におけるペルム紀/三畳紀境界層の詳細復元および酸化還元環境の推定、佐久間広展・多田隆治・池田昌之・柏山祐一郎・大河内直彦・小川奈々子・渡部哲子・田近英一・山本信治
10:15	O-144 反射法地震探査からみた粟島周辺地域の断層褶曲帯の活動性について、木村治夫・岡村行信	O-85 中国東北部、下部白亜系の後背地風化過程、太田 亨・Li Gang・相田和明・坂井 草・平野弘道・香西 武・吉川武憲	O-18 三畳紀後期カーニアン・ノーリアンのコンドント化石群集とその古地理変遷—丹波帯地福谷と秩父帯久井谷の例—、三上禎次・石田啓祐・鈴木茂之・ヒルシユ フランシス
10:30	O-145 新潟堆積盆地、片貝断層群の断層ガウジ帯、小林健太郎・田中麻衣	O-86 中国東北部、下部白亜系の後背地風化過程、太田 亨・Li Gang・相田和明・坂井 草・平野弘道・香西 武・吉川武憲	O-19 層状チャヤートの炭素同位対層序、堀 利栄・秋國健一・南林慶子・村上由記・池原 実
10:45	O-146 新潟—神戸歪集中帯の成因：堆積被覆層による浮力、大概憲四郎・今泉俊文	O-87 ヒマラヤの変成岩ナップはテナス堆積物を載せたまま前進した？ 酒井治孝・檀原 徹・岩野英樹・瀧上 豊	O-20 ラキノ島より産出した中〜後期三畳紀放射状虫およびコンドント化石、相田吉昭・堀 利栄・高橋 聡・Spöthl K. Bernhard・山北 聡
11:00	O-147 沖繩トラフ北端部のリフティング過程、大岩根尚・藤内智士・中村恭之・清川昌一・徳山英一	O-148 スエズ・リフトの活動のFEシミュレーション、林 大五郎・Dwivedi Sunil K.	O-21 四国北部秩父帯のジュラ紀前期放射状虫化石、竹村厚司・岸本紗矢子・竹村静夫・堀 利栄・山北 聡
11:15	O-148 スエズ・リフトの活動のFEシミュレーション、林 大五郎・Dwivedi Sunil K.	O-149 ヒマラヤの変成岩ナップはテナス堆積物を載せたまま前進した？ 酒井治孝・檀原 徹・岩野英樹・瀧上 豊	O-22 (招待) ジュラ紀のテチテチス海最奥部に残された恐竜足跡、石垣 忍
11:30	O-149 ヒマラヤの変成岩ナップはテナス堆積物を載せたまま前進した？ 酒井治孝・檀原 徹・岩野英樹・瀧上 豊	O-150 プレート沈み込みのプレートダイナミクス、新妻信明	

※シンポジウムの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通り番号がついています。 ※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

日本地質学会第116年学術大会 講演プログラム (口頭)

■9月5日 (土) 午前

会場		ホール	
(シンポ) 都城秋穂追悼		(シンポ) 都城秋穂追悼	
座長：磯崎行雄 (46-53)		座長：磯崎行雄 (46-53)	
9:00	はじめに、磯崎行雄・丸山茂徳	S-46	アングラゼミのリーダー、杉村 新
9:05	9:20	S-47	都城秋穂氏の著書、橋本光男
9:35	9:35	S-48	都城先生の思い出、諏訪兼位
9:50	9:50	S-49	金沢大学理学部地学教室と坂野スクール、小西健二
10:05	10:05	S-50 (招待)	A Japanese geologist in a time of turnover: Akiho Miyashiro, A. M. C. Sengor 休憩
10:50	10:50	S-51	都城岩石学、久城育夫
11:20	11:20	S-52 (招待)	都城秋穂が科学哲学に提起した問題、熊沢峰夫・戸田山和久
11:40	11:40	S-53	ポスト都城の道、丸山茂徳
講演会場 44		講演会場 43	
(シンポ)「ちきゅう」南海トラフ掘削の成果 (総括)		(シンポ) 高Mg安山岩とアダカイト	
座長：氏家恒太郎 (1-5), 声 寿一郎 (6-9)		座長：田村芳彦 (23-25), 木村純一 (26-28)	
9:00	S-1	9:00	S-23
南海トラフ地震発生帯掘削計画の今後の科学目標、木村 学・木下正高・倉本真一	南海トラフ地震発生帯掘削計画の今後の科学目標、木村 学・木下正高・倉本真一	瀬戸内火山帯概説：高Mg安山岩、サヌキトイド、そして大陸地殻、巽 好幸	瀬戸内火山帯概説：高Mg安山岩、サヌキトイド、そして大陸地殻、巽 好幸
9:15	S-2 (招待)	9:30	S-24
IODP Exp319 航海報告、荒木英一郎・IODP Exp319乗船研究者一同	IODP Exp319 航海報告、荒木英一郎・IODP Exp319乗船研究者一同	アダカイトの岩石化学的多様性とその成因、土谷信高	アダカイトの岩石化学的多様性とその成因、土谷信高
9:35	S-3 (招待)	10:00	S-25
巨大分岐断層と海底下生命圏、稲垣史生	巨大分岐断層と海底下生命圏、稲垣史生	フルイド付加融解vs.メルト付加融解、木村純一	フルイド付加融解vs.メルト付加融解、木村純一
9:55	S-4	10:30	S-26
南海トラフの海底地すべりの発生プロセス、川村喜一郎・安間 了・木下正高・坂口有人・金松敏也・山田泰広・横山俊治	南海トラフの海底地すべりの発生プロセス、川村喜一郎・安間 了・木下正高・坂口有人・金松敏也・山田泰広・横山俊治	アダカイトとその類似岩、亀井淳志	アダカイトとその類似岩、亀井淳志
10:15	S-5 (招待)	11:00	S-27
南海トラフ付加体内部の応力場逆解析、伊藤喜宏・浅野陽一・小原一成	南海トラフ付加体内部の応力場逆解析、伊藤喜宏・浅野陽一・小原一成	伊豆小笠原マリアナ弧のマグネシアン安山岩、田村芳彦	伊豆小笠原マリアナ弧のマグネシアン安山岩、田村芳彦
10:35	S-6 (招待)	11:15	S-28 (招待)
Friction at Seismic Slip Spppppppccds: Experiments and Theory, Kevin Brown, Yuri Fialko	Friction at Seismic Slip Spppppppccds: Experiments and Theory, Kevin Brown, Yuri Fialko	瀬戸内火山帯の形成年代：小豆島におけるマール年代学、谷 健一郎・巽 好幸・佐藤佳子・Daniel Dunkley・檀原 徹	瀬戸内火山帯の形成年代：小豆島におけるマール年代学、谷 健一郎・巽 好幸・佐藤佳子・Daniel Dunkley・檀原 徹
10:55	S-7		
IODP南海トラフ掘削による付加体浅部物質の摩擦特性について、堤 昭人・渡邊俊一	IODP南海トラフ掘削による付加体浅部物質の摩擦特性について、堤 昭人・渡邊俊一		
11:15	S-8		
沈み込み帯地震発生深度で形成されたシユードタキライイトとワルトラカタクレーンサイトの特徴、氏家恒太郎・山口飛鳥・藤 昇一・山口はるか	沈み込み帯地震発生深度で形成されたシユードタキライイトとワルトラカタクレーンサイトの特徴、氏家恒太郎・山口飛鳥・藤 昇一・山口はるか		
11:30	S-9		
延岡衝上断層、山口飛鳥・木村 学・ユグランド・阿部伸也・草葉陽子・山口はるか・柴田伊廣	延岡衝上断層、山口飛鳥・木村 学・ユグランド・阿部伸也・草葉陽子・山口はるか・柴田伊廣		
11:45	総合討論		

※シンポジウムの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通り番号がついています。 ※講演タイトルはスペースの一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

9月5日 (土) 午後

会場		ホール		講演会場 44		講演会場 43		講演会場 31		
(定番) 変成岩とテクトニクス		(定番) 第四紀地質		(定番) 地域地質・地域層序		(定番) 地域地質・地域層序		(定番) 深成岩と火山岩		
14:00	座長：青矢睦月 (211-214), 河上哲生 (215-219), 岡本 敦 (220-224)	座長：下山正一 (276-279), 田中里志 (280-284), 渡辺正巳 (285-287)	座長：田沢純一 (54-57), 豊島剛志 (58-61), 笹尾英嗣 (62-65), 高橋 浩 (66-67)	座長：古川邦之 (180-182), 壺井基裕 (183-186)	14:00	O-211 中国雲南省ツァンシェン山地に分布する変成岩の変成作用と全岩化学組成. 米村和敏・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・馬場壮太郎	14:00	O-54 岐阜県西部の美濃帯. 佐野弘好・八尾 昭・桑原世世子	14:00	O-180 中部地方篠家帯, 伊那山脈の細粒苦鉄質岩岩脈について. 手塚恒人
14:15	O-212 東南極スカレビークラスハルセンのCHIMEモナズ石年代. 河上哲生・外田智千	14:15	O-277 大阪湾における珪藻群集の時空間変化と人為環境改変・汚染. 廣瀬孝太郎・安原盛明・辻彰・吉田広人・山崎秀夫・後藤敏一・吉川周作	14:15	O-278 京都府阿蘇海湖底の珪藻遺骸群集と環境遷. 田中里志・瀬戸浩二・高田裕行	14:15	O-55 紀伊半島四万十帯. 上部白亜系花園層から産出する放散虫化石群集. 山本俊哉	14:15	O-181 中部地方篠家帯神原トナライトにおけるSr同位体初生値の不均質と同化作用. 壺井基裕・浅原良浩	
14:30	O-213 フェロシユエドアルツカイト様イルメナイト-トルチル共生. 川崎智佑・白河知恵・中野伸彦・小山内康人	14:30	O-279 中海の閉鎖性水域内外のラジウム放射能. 野村律夫・中村光作・瀬戸浩二・井上陸夫	14:30	O-280 山陰地方中部における完新世花粉層序. 渡辺正巳	14:30	O-56 三智紀における東アジア東縁のプレート境界は横ずれ型だったのか? 菅森義晃	14:30	O-182 海嶺下のメルトレレンズの挙動~オマーンオフライト上部斑レイ岩層からの検討~. 野川裕・足立佳子・宮下純夫	
14:45	O-214 セーロロンダーネ山地南西テレーンのクラニユライト相変成作用. 志村俊昭・大和田正明・柳原雅樹・東田和弘・亀井淳志	14:45	O-281 山陰地方中部における完新世花粉層序. 渡辺正巳	14:45	O-282 徳島県土柱層の堆積環境について. 武智賢樹・鹿島愛彦	14:45	O-57 オンフイリオンラック法に基づく篠山層群の年代の再考. 林慶一・松川正樹・大平寛人・磯本基・甄金生・伊藤 慎・小荒井千人・小島 郁生	14:45	O-183 海嶺セグメント境界部の溶岩層序から検討した軸上・ホフアクシス火成活動の変遷・オマーンオフライトの例. 草野有紀・宮下純夫・海野 進	
15:00	O-215 コーヒスタス山島弧背弧起源変成層の構造的影響. 山本啓司・ハフイーズウル レーマン・金子慶之	15:00	O-283 有明海干潟における豊かなアサリ漁場の地質学. 下山正一・塚野香織・百島則幸・市原季彦・堤 裕昭・井上聡・山中寿朗	15:00	O-284 鹿児島県種子島の中部地域における前期更新世増田層の層位的・古環境学的研究. 久保田亮・大木公彦・古澤 明	15:00	O-58 大火山の基盤岩. 竹下浩征・八木公史・郷津知太郎・草野高志・佐藤光男	15:00	O-184 オマーンオフライトFizh岩体北端部におけるマントルセクションのカンラン岩と苦鉄質・超苦鉄質ダイクの組成関係. 佐藤力樹・高澤栄一	
15:15	O-216 Timing of the India-Asia collision and the Himalayan metamorphism. Hafiz Ur Rehman・Hiroshi Yamamoto	15:15	O-285 ハイリッヒ1 寒冷化の終焉: その原因と結果. 箕浦幸治・勝俣美由希・堀内一穂・柴田康行・内田昌男	15:15	O-286 更新世後期の日本列島における古気候解析の統合. 公文富士夫・河合小百合・井内美都・長橋良隆	15:15	O-59 対州層群の形成年代と堆積環境. 二宮 崇・谷口 翔・下山正一・宮田雄一郎・タニエルク・西田民雄・市原季彦	15:15	O-185 オマーンオフライトマントルセクションにおける苦鉄質-超苦鉄質ダイクの多様性と起源. 金澤晋太郎・高澤栄一	
15:30	O-217 ボヘミア山塊のガーネット橄欖岩のジルコンのU-Pb年代測定. 苗村康輔・タニエル タンクラー・臼杵 直・平島崇男・マルチン スワイイッカ	15:30	O-287 異常気象は大地震を誘発するのか? 中村真 人	15:30	O-60 四国中央部, 御荷鉾緑色岩類-秩父帯北帯の地質構造. 村田明広・山崎亮輔・前川寛和	15:30	O-61 九州黒瀬川帯のデボン系と石炭系の地質学的関係. 宮本隆実・桑木流淳二・秋山哲男・木戸 絵里香	15:30	O-186 海洋リソスフェアマントルの変遷: オマーン・フレイズ岩体の例. 高澤栄一・村上龍太郎・金澤晋太郎・佐藤力樹	
15:45	O-218 八重山変成岩類高変成度域の温度構造. 石塚英男・大浜新士・田盛拓也・福冢直幸・當真千寿紗・竹本悠路	15:45	O-62 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	15:45	O-63 沖繩本島勝連半島一帯に分布する知念層の石灰質ナノゾ化石層序. 井龍康文・千代延 俊・猿渡集人・佐藤時幸・樺元淳一	15:45	O-64 フィリピン島孤発達史. 鈴木茂之・石田啓祐	15:45	O-177 阿武火山群伊良尾火山の噴火史と岩石学的特徴. 永尾隆志・清杉孝司・堀川義之	
16:00	O-219 九州西部高浜変成岩類中の結晶片岩類の変成温度圧力. 有馬和宏・池田 剛	16:00	O-65 中央ネパールヒマラヤ. トリアス紀後期南チヌ海域砕屑性陸棚のバッチ礁. 川村寿郎・吉田孝紀・鈴木茂之・Dhital Megh Raj・山中晶子・大友和夫	16:00	O-66 アメリカ・ワシントン州, San Juan Island の中生代付加体Deadman Bay terrane中のベルム紀海山の重力流堆積物. 山縣 毅	16:00	O-67 OneGeology-インターネット時代の国際地質図. 脇田浩二・バンディバス ジョエル・伏 戸島祐一郎・宝田晋治	16:00	O-178 伊豆半島北東部の第四系水中心火山岩の産状. 及川輝樹・石塚 浩	
16:15	O-220 ニューラルネットワークを用いた変成反応の逆問題解析. 桑谷 立・鳥海光弘	16:15	O-68 アメリカ・ワシントン州, San Juan Island の中生代付加体Deadman Bay terrane中のベルム紀海山の重力流堆積物. 山縣 毅	16:15	O-69 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	16:15	O-179 活火山恵山の長期的ハザード評価. 三浦大助・土志田 潔	16:15	O-175 始良カルデラ. 29cal ka BPの大規模噴火の推移について. 福田登志郎・小林哲夫	
16:30	O-221 四国三波川変成岩Garnet-amphiboliteの上昇に伴う組織形成. 宇野正起・鳥海光弘	16:30	O-70 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	16:30	O-71 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	16:30	O-176 阿久根I.2火砕流と水成層に挟まるテフラとの対比. 水野清秀・宝田晋治・星住英夫	16:30	O-176 阿久根I.2火砕流と水成層に挟まるテフラとの対比. 水野清秀・宝田晋治・星住英夫	
16:45	O-222 Polyphase metamorphic history of pelitic schists in the Sambagawa metamorphic belt, Sebadani area, central Shikoku, Japan. Kabir Md Fazle・Takasu Akira	16:45	O-72 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	16:45	O-73 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	16:45	O-177 阿武火山群伊良尾火山の噴火史と岩石学的特徴. 永尾隆志・清杉孝司・堀川義之	16:45	O-177 阿武火山群伊良尾火山の噴火史と岩石学的特徴. 永尾隆志・清杉孝司・堀川義之	
17:00	O-223 領家花崗岩の成因. 青矢陸月・水上知行・上原真一・ウオリス サイモン	17:00	O-74 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	17:00	O-75 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	17:00	O-178 伊豆半島北東部の第四系水中心火山岩の産状. 及川輝樹・石塚 浩	17:00	O-178 伊豆半島北東部の第四系水中心火山岩の産状. 及川輝樹・石塚 浩	
17:15	O-224 三波川帯-秩父帯の構造関係: 関東山地から「谷徹丸」	17:15	O-76 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	17:15	O-77 種子島オオリスストローム. 福田泰英・坂井 卓	17:15	O-179 活火山恵山の長期的ハザード評価. 三浦大助・土志田 潔	17:15	O-179 活火山恵山の長期的ハザード評価. 三浦大助・土志田 潔	

シンポジウムは講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通し番号がついています. ※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

■9月5日 (土) 午後

会場		講演会場 41	講演会場 42	講演会場 51
		(トピック) IBMの発生と進化	(定番) テクトニクス	(定番) 石油・炭炭
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00
IBM基盤リソフエア:上部マントルかんらん岩, 新井田清信・千葉恵美・東 豊土・石井輝秋	IBM基盤リソフエア:上部マントルかんらん岩, 新井田清信・千葉恵美・東 豊土・石井輝秋	座長: 針金由美子 (29-32), 坂本 泉 (33-36), 植田勇人 (37-41)	座長: 佐藤活志 (151-154), 小林健太 (155-157)	座長: 大久保 進 (117-119)
14:15	14:15	14:15	14:15	14:15
伊豆・小笠原弧における極初期島弧地殻断面の発見, 谷健一郎・宿野浩司・平原由香・羽生 毅・高橋俊郎・Nichols Alexander・Vaglarov B. St.・Dunkley Daniel J.・森下知晃・針金由美子・町 澄秋・石塚 治・宮嶋優希	伊豆・小笠原弧における極初期島弧地殻断面の発見, 谷健一郎・宿野浩司・平原由香・羽生 毅・高橋俊郎・Nichols Alexander・Vaglarov B. St.・Dunkley Daniel J.・森下知晃・針金由美子・町 澄秋・石塚 治・宮嶋優希	O-29	O-151	O-117
小笠原弧の基盤としての大町海山蛇紋岩体, 植田勇人・臼杵直・平内建一・メシエママーテイン・新井田清信・YK08-05研究者一同	小笠原弧の基盤としての大町海山蛇紋岩体, 植田勇人・臼杵直・平内建一・メシエママーテイン・新井田清信・YK08-05研究者一同	O-30 (招待)	月探査機かぐやのLRSIによる地下探査で推定された, 湿りの海における玄武岩の総厚とそのテクトニクスな意義, 山路 敦・押上祥子・山口 靖・中川広務・熊本篤志・小野高幸・小林敬生	津軽堆積盆地に分布する中新統硬質泥岩の石油根拠源岩評価, 下総麻衣子・数田文代・氏家良博
14:45	14:45	14:45	14:45	14:45
マリアナ前弧に分布する蛇紋岩海山のかんらん岩の性質と蛇紋岩化作用, 村田恵子・前川寛和	マリアナ前弧に分布する蛇紋岩海山のかんらん岩の性質と蛇紋岩化作用, 村田恵子・前川寛和	O-31	GFS, 地震, 地表変位のデータに基づく断層活動の確率論的な長期評価手法, 後藤淳一・土 宏之	四国~房総半島付加体の有機物タイプと発生炭化水素量の見積り, 三瓶良和・田中孝典・大澤一久・徳平太一・中村隆之
15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
マリアナトラフかんらん岩中のはなれい岩脈の成因, 千葉恵美・新井田清信	マリアナトラフかんらん岩中のはなれい岩脈の成因, 千葉恵美・新井田清信	O-32	三都-中国帯の二帯並列構造の成因, 早坂康隆・宮本隆實・勝部亜矢・藤井正博・伏木 治	新潟県小千谷油田の産油層準-基礎試錐「小国」の石油地質(その1), 加藤 進・三輪美智子・平松 力
15:15	15:15	15:15	15:15	15:15
ゴジラムリオンの発生とパレスベラ背弧海盆の進化, 針金由美子・道林克頓・小原泰彦	ゴジラムリオンの発生とパレスベラ背弧海盆の進化, 針金由美子・道林克頓・小原泰彦	O-33	温度上昇による構造運動-白亜紀の西南日本内帯-, 豊原富士夫	堆積盆地埋積様式の類型化その2: 2次元変化と碎屑物供給, 高野 修・Chris Paola・Paul Heller
15:30	15:30	15:30	15:30	15:30
世界最深の海洋底岩石試料: トンガ海溝かんらん岩, 道林克頓・上原茂樹・新海優里・針金由美子・石井輝秋・沖野郷子	世界最深の海洋底岩石試料: トンガ海溝かんらん岩, 道林克頓・上原茂樹・新海優里・針金由美子・石井輝秋・沖野郷子	O-34	砂質片岩中のジルコニンの年代分布に基づく三波川帯の再区分, 大藤 茂・下條将徳・青木一勝・中間隆晃・丸山茂徳・柳井修一	熱河層群の堆積益テクトニクス, 坂井 卓・太田 亨・平野弘道・香西 武・リー ガン
15:45	15:45	15:45	15:45	15:45
衝突帯の深成岩, 田村芳彦	衝突帯の深成岩, 田村芳彦	O-35	ピストン・シリンドラー型実験装置を用いた「クラック・フラー」弾性波速度測定, 斉藤 哲・石川正弘・有馬 眞・巽 好幸	韓国西部におけるジュラ紀造山同時堆積作用, 江川浩輔・李容錫
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00
海洋性島弧創成期のマグマプロセスの解明-小笠原海嶺帯新調査速報-, 石塚 治・湯浅真人・谷健一郎・海野 進・針金由美子・金山恭子・宮嶋優希・リーガン マーク	海洋性島弧創成期のマグマプロセスの解明-小笠原海嶺帯新調査速報-, 石塚 治・湯浅真人・谷健一郎・海野 進・針金由美子・金山恭子・宮嶋優希・リーガン マーク	O-36	脈状断層ガウジ: 活断層帯の「地震化石」, 林 愛明	山形県新庄盆地西縁部の鮮新世古地理の変遷, 守屋俊治・鎮西清高・中嶋 健・檀原 徹
16:15	16:15	16:15	16:15	16:15
北部伊豆・小笠原弧ベヨネーズ背弧海城から採取された酸性火山岩および深成岩類, 坂本 泉・金 容義・馬場久紀・花田正明・宮嶋優希・石田光男・岡村 聡・高橋成美	北部伊豆・小笠原弧ベヨネーズ背弧海城から採取された酸性火山岩および深成岩類, 坂本 泉・金 容義・馬場久紀・花田正明・宮嶋優希・石田光男・岡村 聡・高橋成美	O-38	有馬-高槻構造線六甲断層に発達する断層破砕帯の幅について, 山下和彦・林 愛明	常磐沖の地震波断面中に見られる鮮新統の堆積シケーンズ, 保柳康一・中村恭之・畑中 彩・柳沢幸夫
16:30	16:30	16:30	16:30	16:30
伊豆・小笠原弧, 新黒瀬堆積域における玄武岩質マグマ活動, とその起源, 平原由香・谷健一郎・石塚 治・宿野浩司・Alex Nichols・Richard Fiske・Daniel Dunkley・狹津 達	伊豆・小笠原弧, 新黒瀬堆積域における玄武岩質マグマ活動, とその起源, 平原由香・谷健一郎・石塚 治・宿野浩司・Alex Nichols・Richard Fiske・Daniel Dunkley・狹津 達	O-39	脈状断層ガウジ: 活断層帯の「地震化石」, 林 愛明	新潟堆積盆地蒲原平野の地下に分布する椎谷層相当層の堆積システム, 荒戸裕之・加藤 明・山本尚史・保柳康一
16:45	16:45	16:45	16:45	16:45
ソレアイト vs. カルクアカリ系列と島弧地殻の進化: IBM玄武岩の融解実験による制約, 巽 好幸・鈴木敏弘	ソレアイト vs. カルクアカリ系列と島弧地殻の進化: IBM玄武岩の融解実験による制約, 巽 好幸・鈴木敏弘	O-40	中央構造線の脆性断層岩, 重松紀生・藤本光一郎・田中伸明・古谷直人・木村希生・森 宏・Simon Wallis	
17:00	17:00	17:00	17:00	
岩石の地震波速度から見た海洋性島弧の地殻マントル構造, 石川正弘	岩石の地震波速度から見た海洋性島弧の地殻マントル構造, 石川正弘	O-41		

※シンポジウムの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月5日 (土) 午後

会場		講演会場 52	講演会場 54	講演会場 55
		(トピック) 「ちぎゅう」南海トラフ掘削の成果		
座長：橋本善孝 (23-27), 坂口有人 (28)				
14:00	O-23 熊野沖付加プリズムの発達と前弧海盆の形成, 芦寿一郎・青池寛・眞砂英樹	O-231 大分県別府湾の表層堆積物中の重金元素濃度分布, 天野敦子・阿草哲郎・加三千宣・大森浩二・武岡英隆・杉本隆成	(トピック) 希ガス年代測定	
14:15	O-24 熊野トラフにおける後期更新世火山灰層序, 金松敏也・林広樹	O-232 日本各地における湖沼堆積物中の化石燃料燃焼物質の時間分布, 北瀬(村上)晶子・山崎秀夫・森脇洋・平川恵梨・吉川周作	座長：角野浩史 (1-2, 4-6, 12), 兵藤博信 (3, 7-11)	
14:30	O-25 熊野灘海底砂層の記載と後背地・IODP第315次航海, 眞砂英樹	O-233 竜の口層に含まれる重金元素含有量と溶出挙動, 土屋範芳・荒川淳一	O-1 (招待) Noble Gas Geochemistry on Materials from Earth's Interior. Takuya Matsumoto	
14:45	O-26 南海掘削コア試料の三軸圧縮強度, 林為人・中村敏明・Chang Chandong・多田井修・坂口眞澄・廣瀬文洋・谷川亘	O-234 関東ロームの有する汚染水浄化能力の定量的検討, 香村一夫・馬場直紀・遠藤庸弘	O-2 マントルのKUのパジャェット, 羽生毅	
15:00	O-27 南海トラフ地震コアのピトリナイト, 坂口有人・IODP Exp316乗船研究者一同	O-235 廃棄物立跡地での地下空気吸引と地下水揚水による浄化に伴う地盤沈下, 楠田隆・吉田剛・古野邦雄・笠原豊・香川修・西川順二・濱口聡・宮崎隆・田村嘉之・石井泰裕・風岡修・加藤晶子・山本真理・酒井豊	O-3 AR-Ar及びLXe法の拡張による極微量ハロゲンの検出, 角野浩史・馬上謙一・長尾敬介	
15:15	O-28 沈み込み帯における堆積物の結成過程・ウェッジン形状・地震サイクル, 橋本善孝	O-236 地下水質と観測井一印西市浦部地区観測井データから一, 酒井豊・風岡修・加藤晶子・楠田隆・村越道弘・篠田正彦・清水健一・細谷有・石井亮・八幡明子・青木勝宏・吉田剛・山本真理	O-4 希ガスと年代測定, 兼岡一郎	
座長：坂口有人 (136-138)				
		(定番) 付加体		
15:30	O-136 反クリテイカル・テイパー理論, 阪口秀・堀高峰	O-237 地質汚染調査, 上砂正一	O-5 断層帯の熟年代学, 田上高広	
15:45	O-137 古生代後期緑色岩の火成活動, 北部秩父帯, 辻智大・渋谷爽・柳原正幸・堀利栄	O-238 航空レーザーデータを活用した里山地域の景観生態学的評価, 小荒井 衛・中埜貴元・長澤良太・日置佳之	O-6 (U-Th)/He年代法とその応用, 山田国見・花室孝広・島田耕史・梅田浩司・田上高広・高木秀雄・山田隆二	
16:00	O-138 沈み込み帯地震発生帯のESR熟年代学, 福地龍郎・今井登・徐亘・宋聖榮	O-239 中国四省, 汶川地震断層の地中レーダ画像, 宮田隆夫・洪景鵬・付小方	O-7 断層岩を模した摩擦溶融実験でのK-Ar年代の若返り, 佐藤佳子・廣瀬文洋・熊谷英憲・田村肇・溝口一生・嶋本利彦	
		O-240 長野市北部地域の後背湿地堆積物と中越沖地震被害ほか, 塩野敏昭	O-8 高圧変成岩中の白雲母K-Ar年代の閉鎖温度, 郷津知太郎	
		O-241 砂丘内陸側斜面上部に見られる液状化-流動化現象, 風岡修・佐藤光男・吉田剛・古野邦雄・楠田隆・香川淳・酒井豊・原雄・香村一夫・佐藤賢司・楡井久	O-9 蔵王火山, 最新期噴出物のK-Ar年代測定, 武部義宜・佐藤佳子・熊谷英憲・伴雅雄	
		O-242 廃棄物最終処分場のLinerと活地塊, 楡井久	O-10 年代標準試料候補MZ94の分析値, 岩田尚能・齋藤和男・角野浩史・佐藤佳子	
		O-243 防災リスク環境の形成要因と防災の要諦, 志岐常正・藤田崇・中川康一・小林芳生・小井土由光	O-11 アルゴン同位体の質量分別線, 柳善榮・兵藤博信・板谷徹丸	
			O-12 微小試料レーザー <sup>40</sup> Ar/ <sup>39</sup> Ar年代, 兵藤博信・板谷徹丸	

※シンポジウムでの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月6日 (日) 午前

会場	ホール	講演会場 44	講演会場 43	講演会場 31
9:00	(シンポ) A special symposium to honor Shouhei Banno: 坂野昇平追悼 座長: T. Hirajima (38-42), M. Enami (43-45)	(シンポ) 三次元地質モデル 座長: 古宇田亮一 (54-57), 根本達也 (58-61), 升本真二, 木村克己 (62, 総合討論)	(シンポ) 科学を文化に 座長: 藤本光一郎・高清水康博 (61-67, 総合討論)	(シンポ) 中国地方の新生界の諸問題 座長: 酒井哲弥・松原尚志 (10-13), 入月俊明・沢田順弘 (14-17), 沢田順弘・尾崎正紀 (18-22)
9:00	Opening remarks. T. Hirajima	9:00 挨拶, 升本真二	9:00 シンポジウム趣旨説明	9:00 中国地方の後期古第三紀から中新世にかけての諸問題. 沢田順弘・入月俊明・酒井哲弥・尾崎正紀・松原尚志
9:05	S-38 (招待) Solid solution and partition equilibria. M. Enami	9:05 S-54 都市地質研究における三次元モデルとその構築手法. 木村克己・石原与四郎・小松原純子・根本達也・江藤雅佳子	9:05 S-61 地学教育の現状と今後の方向性. 牧野泰彦	9:15 S-11 海成古第三系と貝類化石群. 松原尚志
9:25	S-39 (招待) Structural petrology in the Sanbagawa belt. S. Wallis & M. Aoya	9:30 S-55 三次元地質モデルの基本要素と地質構造の論理モデル. 升本真二・塩野清治・根本達也・野々垣 進	9:25 S-62 新学習指導要領で目指すもの - 高等学校地学を中心に - . 三次徳二	9:28 S-12 岡山・神戸の古第三紀玄武岩. 松浦浩久・妹尾 護
9:45	S-40 (招待) Geochronology of Sanbagawa belt. T. Itaya	9:50 S-56 地質構造の論理モデルを用いた三次元地質モデリング: データ処理と可視化. 根本達也・升本真二・塩野清治	9:45 S-63 地学履修者を増やすための方策. 芝川明義	9:46 S-14 山陰地域の古第三紀コールドロン群のK-Ar年代. 今岡照喜・君波和雄・長松 雄・板谷徹丸
10:05	S-41 (招待) Geochronology and tectonics of the Ryoke belt. T. Nakajima	10:10 S-57 (招待) 地質調査業における三次元モデル. 得丸昌則	10:05 S-64 京都における地学教育の現状と課題. 紺谷吉弘	9:59 S-15 西南日本に分布する始新統~漸新統と日本海開裂の初期過程. 鹿野和彦
10:25	S-42 (招待) Current topics of HT/UHT metamorphism. Y. Hiroi	10:35 S-58 石油業界における3次元貯留層モデリング. 高野 修・辻 隆司	10:25 S-65 (招待) 地域を生かした岩石・鉱物学習. 杉山了三	10:12 S-16 島根県東部中新統古浦層に記録された環境の変化. 酒井哲弥・古川綱子
10:45	S-43 (招待) UHP Grt peridotites from sea-floor hydrated ultramafic rocks. J.J. Yang	10:55 S-59 食食合形状モデリング. 辻 隆司・柏原功治・山田知己・加藤 新・高野 修・岡田吹也	10:35 S-66 教育テーママタとしての“津波”とその教材としての“津波堆積物”. 七山 太	10:25 S-17 中国山地の海成中新統からの微化石群集. 入月俊明・林 広樹・瀬戸浩二・田中裕一郎・松山和馬・岩谷北斗・後藤隆嗣
11:05	S-44 (招待) Contribution of petrologic studies from Western Alps. R. Compagnoni	11:15 S-60 三次元モデリングと地質情報標準. 古宇田亮一	11:15 S-67 知識社会の地学教育. 藤林紀枝・中井睦美・藤本光一郎	10:42 S-18 (招待) 中国地方下の地震活動と地下構造. 三好崇之
11:30	S-45 (招待) Deformation and Structure-formation. M. Toriumi	11:35 総合討論	11:35 総合討論	10:56 S-19 中国地方の漸新統からみた西南日本弧発達の諸問題. 尾崎正紀
11:55	Closing remarks. T. Nishiyama			11:09 S-20 西南日本の時計回り回転: 到達点と課題. 星博幸

※シンポジウムの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

9月6日 (日) 午前

会場	講演会場 51	講演会場 52
	(定番) 堆積作用・堆積過程	(定番) 古生物
9:00	<p>盛長：吉河秀郎 (103-106)、西田尚央 (107-110)、清川昌一 (111-114)</p> <p>O-103 多毛類化石とその生痕の三次元構造と本郷層の堆積環境。金光男・柏原秀雄・池原 研・牧野州明・保柳康一</p> <p>O-104 Fluid mud堆積物における「粒状構造」のサイズ分布。西田尚央・伊藤 慎</p> <p>O-105 Sr同位体比を用いた仙台湾海浜砂の動態解析。齋藤 有・田村亨・中野孝教</p> <p>O-106 砂岩中のジルコン年代による過去の後背地研究。中間隆晃・丸山茂徳・平田岳史・大藤 茂・柳井修一</p> <p>O-107 新潟県新津油田, 金津層・平層 (最上部中新統～下部鮮新統)中の「コクタンラーライト」, 栗田裕司</p> <p>O-108 鹿尾島卑崖摩砕葛島長浜湾における鉄沈殿機構の推定。永田知研・清川昌一・二宮知美・坂本 亮・竹原真美・池原 実・小栗一将・後藤秀作・伊藤 孝・山口耕生</p> <p>O-109 DXCL掘削報告3: オーストラリア・ピルバラ海岸グリーンストーン帯における32億年前の堆積相復元。坂本 亮・清川昌一・伊藤 孝・池原 実・奈良岡 浩・山口耕生・菅沼悠介・細井健太郎・宮本弥枝</p> <p>O-110 太古代の海底熱水系層序: DXCL掘削成果4。清川昌一・伊藤 孝・池原 実・山口耕生・奈良岡浩・菅沼悠介・坂本 亮・細井健太郎</p> <p>O-111 原生代末期における深海の酸化還元環境 佐藤友彦・磯崎行雄・松尾基之</p> <p>O-112 先カンブリア紀の表層海水温の推定。小宮 剛・西澤 学・平田岳史</p> <p>O-113 南中国Weng'an地域のエディアカラ紀リソ酸塩岩中のリン酸塩と炭酸塩のストロンチウム局所分析とリソソンス。岡田吉弘・澤木佑介・小宮 剛・西澤 学・高畑直人・佐野有司・丸山茂徳</p> <p>O-114 原生代後期、南中国Weng'an地域の最古動物胚化石を含む微化石を構成するリン酸塩鉱物のU-Pb 3次元コンコーディア年代。村上第一・澤木佑介・平田岳史・北島宏輝・佐野有司・小宮 剛</p>	<p>9:00 O-160 徳高県上勝町の白亜紀前期エスチュアリア奥部黒色泥岩から産する<i>Tetoria sanchuensis</i>の自生産状。箭野敬典・近藤康生・奈良正和・高橋健一・井上紀子・菊池直樹・香西 武</p> <p>O-161 中新統田辺層群白浜累層の潮汐低地システムに見られる自生カキ化石層とその成因 下郡裕之・高橋健一・近藤康生・奈良正和</p> <p>O-162 中新世汽水性二枚貝シオサザナミ科<i>Soletellina minoensis</i>の生息場所と進化古生態学的意義。高橋健一・近藤康生</p> <p>O-163 貝形化石群集に基づく上部鮮新統 宮崎層群高錫層の古環境変遷。岩谷北斗・入月俊明・林 広樹・田中裕一郎</p> <p>O-164 日本の下部中新統より産出する大型イシガメ科 (カメ目) に関する予察的考察。平山 廉・高橋亮雄・蘭田哲平・加藤敬史・河野重範・鶴岡宏明・角谷大輔</p> <p>O-165 イラン北西部マラゲー産後期中新世有蹄類化石類歯メソウエア解析。仲谷英夫・速見恵理・宮里奈央・渡部真人</p> <p>O-166 岐阜県大野町石山石灰岩の生層序。川合康司・高橋 健</p> <p>O-167 福岡県宮若市。脇野亜層群中の石灰岩礫の<i>Neoschwagerinids</i>。太田泰弘・阿部哲夫・黒河雅文・太田正道</p> <p>O-168 南中国の呉家坪/長興階境界のアンモナイトとコノドント。水広昌之・Shen Shuzhong</p> <p>O-169 貝殻理論形態モデルの統一に向けて。生形貴男</p> <p>O-170 北海道の後期中新統厚内層における珪藻<i>Chaetoceros</i>属休眠孢子急埋イベント。須藤 斎・萩本伸大</p> <p>O-171 ブルームの冬増強版。磯崎行雄</p>

※シンポジウムの講演には(S), トピックおよび定番セッションの講演には(O)の通り番号がついています。 ※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月6日 (日) 午後

会場		ホール	
講演会場 43		講演会場 31	
(定番) 地学教育・地学史		(定番) 深成岩と火山岩	
座長：S. Maruyama (29-31), Y. Isozaki (32-37)		座長：金丸龍夫 (187-192), 星出隆志 (193-198)	
14:00	Opening remarks, Yukio Isozaki	14:00	O-187 室戸岬斑い岩かんらん石中の角閃石含有多相固体包有物の起源, 星出隆志・小畑正明
14:05	S-29 (招待) Tectonics of Eurasia and its effect to the history of our planet. A.M.C. Sengor	14:15	O-188 西南日本, 冠帯帯柳井地域に分布する古期花崗岩のマグマ過程, 西塚 大・大和田正明
14:45	S-30 Geotectonic framework of Japan updated: re-defining elements and boundaries of an accretionary orogen. Yukio Isozaki	14:30	O-189 京都府北部丹後地域における宮津花崗岩の地球化学的研究, 西垣貴史・壺井基裕
15:00	S-31 Sakawa (Sanbagawa) orogeny revisited: two independent orogenies proposed. Kazumasa Aoki, Shinji Yamamoto, Shigenori Maruyama	14:45	O-190 大東・横田のマグネタイト系深成岩類を生じたマグマの累進的酸化・純度の高い磁鉄鉱の生成, 山口佳昭・川勝和哉
15:15	comment. Shigeru Ohto et al.	15:00	O-191 花崗岩中の石英のカソードルドミネセンスおよびT1の累帯構造とマグマ溜りプロセス, 吉倉 紳一・横山正敏・西戸裕嗣
15:20	short break	15:15	O-192 花崗岩体中のカリ長石の秩序化状態と秩序化経路, 加納 隆・竹崎 愛・前島裕子
15:25	S-32 Juvenile Japan. Keitaro Kunugiza, Atsushi Goto	15:30	O-193 大崩山花崗岩体における垂直方向組成累帯構造の成因, 高橋正樹・岡本康成・藤縄明彦・壺丸龍夫
15:40	S-33 Japanese and Alaskan ophiolites. Akira Ishiwatari	15:45	O-194 富山県宇奈月地域に産する閃緑岩複合岩体のマグマ過程, 滝沢顕吾・大和田正明
15:55	S-34 Tectono-metamorphic processes in SE-Asia. Yasuhito Osanai, Nobuhiko Nakano, Masaaki Owada, Tetsuo Kawakami, Tomoharu Miyamoto, Masaki Yuhara, Kazuhiro Yonemura	16:00	O-195 飛騨帯熊野川地域に分布する斑れい岩複合岩体, 上塘 斎・大和田正明・加納 隆
16:10	S-35 On-going orogenic processes beneath Japanese islands. Hiroshi Sato, Takaya Iwasaki, Tania Ito, Susumu Abe	16:15	O-196 東南海セーブル・ロンダーネ山地, ビーデレーン山で見いだされた花崗閃緑岩体, 柚原雅樹・壺井淳志・大和田正明・志村俊昭・東田和弘
16:25	S-36 Izu-Bonin arc subduction under the Honshu arc. Shinji Yamamoto, Shigenori Maruyama	16:30	O-197 ゴンドワナ超大陸の分裂に関連した火成活動, 大和田正明・志村俊昭・柚原雅樹・東田和弘・壺井淳志
16:30	S-37 Geotectonic Evolution of the Japanese Islands. Shigenori Maruyama, Kazumasa Aoki, Shinji Yamamoto, T. Nakama	16:45	O-198 沈み込み帯の流体プロセスと溶融, 岩森 光・中村仁美
16:50	Discussion		
講演会場 41		(定番) 岩石・鉱物・鉱床一般	
座長：昆 慶明 (225-227), 壺井基裕 (228-230)		座長：昆 慶明 (225-227), 壺井基裕 (228-230)	
14:00	O-225 マイロナイト中のシメル分布から推定される下部地殻の変形帯, 吉村長朗・後藤啓治	14:15	O-226 山陰地域に分布する横田花崗岩の結晶作用とモリブデン鉱化作用の関係, 三谷明日華・壺井淳志・柴田知之
14:30	O-227 山陰帯尾原地域に分布する深成岩類の火成活動とモリブデン鉱化作用に関する研究, 薬師寺 重衣・壺井淳志・柴田知之	14:45	O-228 PET分光結晶におけるバックグラウンド形状の異常, 加藤丈典・鈴木和博
15:00	O-229 隠岐葛尾火山岩火道アルカリ長石の熱史, 中野聡志	15:15	O-230 月布ベントナイト中に含まれるジルコンの微量元素組成とU-Pb年代, 昆 慶明・高木哲一・平田岳史・茂木賢一・伊藤雅和

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通り番号がついています。 ※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

(定番) 環境地質

座長：風岡 修 (244-245), 田村嘉之 (246-248)

14:00 O-244 下総台地東部における降雨と地下水水位・湧水の関係. 香川 淳・古野邦雄・楠田 隆・吉田剛・風岡 修・山本真理・加藤晶子・酒井 豊

14:15 O-245 ローム台地上面湧水地に形成された上部更新統泥炭層と湧水機構. 高嶋 洋・楠田 隆

14:30 O-246 堆積相解析による透水性と地下水水質の特徴. 高清水康博・丸谷 薫

14:45 O-247 甲府盆地周辺の地下構造の解明と地下水探索. 興水達司・尾形正岐・小林 浩・内山高・北原 賢

15:00 O-248 千葉県地盤沈下・地下水位観測井における孔内地下水の深度方向の温度分布. 古野邦雄・香川淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・酒井 豊・風戸孝之

15:15 O-249 GPRを用いた湿原地下非破壊イメージング実験. 七山 太・村上文敏・渡辺和明・吉川秀樹・石川智・重野聖之・猪熊樹人・佐藤真太郎・池田保夫

(定番) 地域間層序対比

座長：里口保文 (68-69), 竹下欣宏 (70-71)

15:30 O-68 長野県南部, 伊那盆地における中期更新世テフラの層序と広域対比. 竹下欣宏・松島信幸・寺平 宏

15:45 O-69 鮮新-更新統層序の同時性と問題. 大久保 弘

16:00 O-70 南房総に分布する千倉層群の鮮新-更新世テフラ層序とその対比. 田村糸子・岡田 誠・山崎晴雄

16:15 O-71 古琵琶湖層群と東海層群における Gauss chron初期のテフラ. 里口保文

講演会場 52

(定番) 古生物

座長：須藤 斎 (172-174)

14:00 O-172 諫早湾, ラジウム放射能比・底生有孔虫群集・重金属濃度の分布. 秋元和美・田中正和・野村律夫・石賀裕明・島崎英行

14:15 O-173 海底洞窟生微小二枚貝の酸素同位体比に基づく過去7,000年間の太陽活動変動に対する東シナ海の応答様式の解明. 北村晃寿・山本なぎさ・大野智久

14:30 O-174 アラビア海酸素極小層下部の底生有孔虫群集とその地球史における意味. 北里 洋・小栗一将・菅寿美・野牧秀隆

(定番) 海洋地質

座長：佐藤 暢 (72-75), 板木拓也 (76-79)

14:45 O-72 ペルム紀末大量絶滅時の大気酸素濃度の急減. 海保邦夫・古賀聖治

15:00 O-73 八代海マウンテン頂部から発見された二枚貝の大口洞一. 安岡 寛・秋元和美・島崎英行・岩渕 洋・七山 太・塩屋藤彦・安藤寿男・須藤雄介・堤 正光

15:15 O-74 沖縄島東方沖の古環境. 板木拓也・小田啓邦・片山肇・池原 研・下司信夫

15:30 O-75 東シナ海北部と日本海南部における過去42,000年の底生有孔虫群集変化の比較. 大井剛志・長谷川四郎・内田昌男・板木拓也・小田啓邦・横山祐典・松崎浩之・久保田好美・多田隆 浩

15:45 O-76 IMAGESサイトでの堆積作用. 川幡穂高・裏島佳代・長尾正之

16:00 O-77 放射性地震探査から推定した相模湾東部海域の構造発達史. 三澤文慶・芦寿一郎・中村恭之・木下正高・岡野 正・徳山英一

16:15 O-78 東部南海トラフ三次元反射法探査断面に見られる地層流体の分布を示唆する音響反射面. 大塚宏徳・森田澄人・柳橋 亨・芦寿一郎・長久保定雄

16:30 O-79 水曜海山及び伊平屋北熱水水域の地殻熱流量観測から推定した水理構造. 正木裕香・川田佳之・木下正高

講演会場 42

(定番) 岩石鉱物の破壊と変形

座長：重松紀生 (126-130), 平内健一 (131-135)

14:00 O-126 粘土質野島断層ガウジの中速・高速摩擦挙動. 澤井みち代・嶋本利彦・東郷徹宏

14:15 O-127 中国龍門山断層ガウジの摩擦実験. 東郷徹宏

14:30 O-128 炭素鉱物の断層すべりに伴う自己断層面潤滑. 大橋聖和・嶋本利彦

14:45 O-129 台湾チエレンブ断層近傍の母岩試料における比熱と熱拡散係数の実測-それらの温度依存性について-. 廣野哲朗・濱田洋平

15:00 O-130 付加体泥質岩の摩擦熔融に関する実験的研究. 氏家恒太郎・堤 昭人・Yuri Fialko・山口はるか

15:15 O-131 分解エンタルピーに基づいたカオリアトリ粒子里内に働いた仕事量. 滝沢 茂・小澤佳奈・八田珠郎・根本清子

15:30 O-132 剪断変形実験による人工水晶単結晶の幾何学軟化. 武藤 潤・タリスジャン・ヘイルブロンナ・レーネー

15:45 O-133 長石の反応-細粒化への水の役割と輸送機構. 福田厚一・奥平敬元

16:00 O-134 地下深部の流体移動. 嶋本利彦

16:15 O-135 圧痕形成に於ける平行四辺形の法則の提唱. 増田俊明・櫻井涼子・三宅智也・山之内未来・大森康智・針金由美子・岡本 敦

(定番) 堆積作用・堆積過程

座長：小宮 剛 (115-116)

14:00 O-115 エデアイカラ紀の炭酸塩の炭素・酸素同位体比の逆相関関係と炭素循環変動. 田畑美幸・上野雄一郎・石川智子・澤木佑介・小宮 剛・吉田高弘・丸山徳茂

14:15 O-116 南中国三峽地域の掘削試料から得られるエデアイカラ紀〜カンブリア紀の安定Ca同位体比層序. 澤木佑介・田畑美幸・小宮 剛・丸山徳茂・平田岳史

(定番) 炭酸塩の起源

座長：狩野彰宏 (86-89), 山田 努 (90-92), 江崎洋一 (93-95)

14:30 O-86 Chemostratigraphy of metacarbonates deposited in the "Mozambique Ocean" between East Gondwana and West Gondwana. Satish-Kumar Madhusoodhan・宮本知治・Hermann Joerg・Windley Brian・Grantham Geoff・Dunkley Dan・本吉洋一・小山内康人・廣井美邦・白石和行・和田秀樹

14:45 O-87 南中国湖北省で顕著な礁構築様式のレジーム転換-オールドビース紀における地球生物相大変革との関連-. 江崎洋一・劉 建波・足立奈津子

15:00 O-88 秋吉石灰岩Mid-Carboniferous境界付近の海上露出の証拠および干潟堆積物. 比嘉啓一郎・秋山哲男

15:15 O-89 Facies analysis of the Middle to Upper Jurassic carbonates of the Blue Nile canyon, north-central Ethiopia. Gilamichael Kidanemariam Domenico・Hiroyoshi Sano・Hiroshi Kurita・Seitchi Toshimitsu

15:30 O-90 冷水サングのU-Th解放系年代 狩野彰宏・沈洲川・坂井三郎

15:45 O-91 多良間島の第四系琉球層群と水理地質的特徴. 山田茂昭・興那原信夫・祖父江久徳

16:00 O-92 衝突変質炭酸カルシウム. 三浦保範

16:15 O-93 炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面の認定-宮古島南部ボーリングコアでの検討-. 南條真志・松田博貴

16:30 O-94 山口県長登銅山産鍾乳石の炭素・酸素安定同位体組成から読む人間活動と環境変遷. 松田博貴・眞崎美穂・吉村和久・栗崎弘輔・杉原真真司・横山裕也・富田麻井・中尾武史・園山幸希・鮎沢潤・岡本 透・中川良平・池田善文・藤川輝之・山田 努・馬淵しの

16:45 O-95 鍾乳石の炭素・酸素同位体組成に記録された10年規模の周期的な気候変化. 山田 努・馬淵しの・松田博貴・財津良夫・吉村和久・栗崎弘輔・中尾武史

(定番) 環境地質

座長：風岡 修 (244-245), 田村嘉之 (246-248)

14:00 O-244 下総台地東部における降雨と地下水水位・湧水の関係. 香川 淳・古野邦雄・楠田 隆・吉田剛・風岡 修・山本真理・加藤晶子・酒井 豊

14:15 O-245 ローム台地上面湧水地に形成された上部更新統泥炭層と湧水機構. 高嶋 洋・楠田 隆

14:30 O-246 堆積相解析による透水性と地下水水質の特徴. 高清水康博・丸谷 薫

14:45 O-247 甲府盆地周辺の地下構造の解明と地下水探索. 興水達司・尾形正岐・小林 浩・内山高・北原 賢

15:00 O-248 千葉県地盤沈下・地下水位観測井における孔内地下水の深度方向の温度分布. 古野邦雄・香川淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・山本真理・酒井 豊・風戸孝之

15:15 O-249 GPRを用いた湿原地下非破壊イメージング実験. 七山 太・村上文敏・渡辺和明・吉川秀樹・石川智・重野聖之・猪熊樹人・佐藤真太郎・池田保夫

(定番) 堆積作用・堆積過程

座長：小宮 剛 (115-116)

14:00 O-115 エデアイカラ紀の炭酸塩の炭素・酸素同位体比の逆相関関係と炭素循環変動. 田畑美幸・上野雄一郎・石川智子・澤木佑介・小宮 剛・吉田高弘・丸山徳茂

14:15 O-116 南中国三峽地域の掘削試料から得られるエデアイカラ紀〜カンブリア紀の安定Ca同位体比層序. 澤木佑介・田畑美幸・小宮 剛・丸山徳茂・平田岳史

※シンポジウムは (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています. ※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

(トピック) ジュラ系+

**P-1** 淡路島南西部における上部白亜系和泉層群西淡層から産するアンモナイト化石・放射虫化石・有孔虫化石とその意義, 吉野恒平・松岡 篤

(定番) 地域地質・地域層序

**P-5** 北海道古丹別地域に分布する上部白亜系函南層, 辻野泰之

**P-6** 北海道奥新冠地域に分布する前期白亜紀付加体の古地磁気, 伊藤康人・藤原知美・玉置真知子・植田勇人

**P-7** 根釧台地沖陸棚・大陸斜面の層序, 辻野匠・野田 篤・川村喜一郎・本山 功・佐々木智之・柳沢幸夫

**P-8** 秋田県南部, 百宅火山岩の層序, 深井勇年・山本正継

**P-9** 南部北上帯津谷地域の下部三畳系平磯層の堆積環境と化石床の変化, 松本拓也

**P-10** 更新統三ツ沢川層のテフラのFT年代, 立石良・小坂英輝・鎌滝孝信・三輪敦志・儘田豊・今泉俊文

**P-11** 岩手県奥州市西部〜一関市西部に分布する新第三系の層序および地質構造の再検討, 内田淳一・渡邊貴央・三輪敦志・鎌滝孝信・小坂英輝・儘田 豊・嶋田智恵子

**P-12** 仙台平野中部の海成上部中新統のFTおよび珪藻年代, 柳沢幸夫・藤原 治・檀原 徹

**P-13** 関東山地東部, 横瀬町〜名栗地域の秩父累帯, 加藤 潔

**P-14** 野田図幅地域の更新統下総層群, 中澤 努・中里裕臣

**P-15** 神奈川県大磯丘陵鷹取山に分布する谷戸層について, 小田原 啓

**P-16** 葉山隆起帯南方に隣接するボーリング孔で確認された三浦層群・葉山層群境界部の微化石年代, 濱田崇臣・近藤浩文

**P-17** フィッシャーン・トラック法から推定される葉山層群の堆積年代, 伊藤久敏・三和 公

**P-18** 5万分の1地質図幅「加茂」地域(新潟県蒲原山地)に分布する足尾帯の地質と付加年代, 内野隆之・堀 利栄

**P-19** 地質図幅「伊勢」と細粒苦鉄質岩, 西岡芳晴・中江訓・竹内圭史・坂野靖行・水野清秀・尾崎正紀・中島 礼・実松健造・名和一成・駒澤正夫

**P-20** 和歌山県湯浅地域の下部白亜系西広層の河川成堆積物およびその古流向と砕屑物供給源, 加瀬善洋・前島 渉

**P-21** 兵庫県三田盆地の古第三紀神戸層群吉川累層に於ける含カミングトン閃石凝灰岩, 谷 保孝

**P-22** 白亜紀作東コーールドロンの地質構造と重力異常, 尾草聡史・小室裕明

**P-23** 白亜紀二上山コーールドロンの火砕岩類と地質構造, 小山 薫・野崎あずさ・小室裕明・亀井敦志

**P-24** 和久羅山デイスサイトと松江層玄武岩の地質学的・岩石化学的研究, 佐藤大介・坪田智行・松本一郎

**P-25** 大山中部火山灰層, 大山倉吉軽石層(DKP)の鉱物・記載岩石学的性質の上下変化, 小滝篤夫

**P-26** 鳥根県西部先ジュラ紀泥質メランジ地帯からの巨大蛇紋岩塊の発見, 清水祐也・松本一郎・石賀裕明

**P-27** 佐賀県嘉瀬川ダム基礎に分布する花崗岩質岩の多様な岩相, 石坂岳士・大和田正明・角藤進・中島 修

**P-28** 熊本県八代山地東域の下部白亜系裂変娑堂層の地質学的意義について, 田中 均・本多栄喜・利光誠一・高橋 努

**P-29** 「八代」図幅南部の火山岩類と火砕流の給源, 宝田晋治・水野清秀・星住英夫・阪口圭一

**P-30** 20万分の1地質図幅「八代及び野母崎の一部」の編纂, 斎藤 真・宝田晋治・利光誠一・水野清秀・宮崎一博・星住英夫・濱崎聡志・阪口圭一・大野哲二・村田泰章

**P-31**

沖繩県北大東島に分布する炭酸塩岩のSr同位体比年代, 高柳栄子・中山裕樹・石川剛志・永石一弥・井龍康文

**P-32** ボンダウ層のフィッシュントラクト年代, 鐔本武久・ジンマウン マウンテイン・鈴木寿志・マウン マウン, 岩野英樹・檀原 徹・高井正成

**P-33** 中央ネパール, ジョムソン〜マナン地域における三畳系テラス堆積物の年代層序, 大友和夫・永広昌之・吉田孝紀・川村寿郎・鈴木茂之・Dhital Megh Raj

(定番) テクトニクス

**P-39** インドチャイナ地域の古生代後期〜中生代の北上過程: 古地磁気学的証拠, 宇野康司・川面聡一郎・久田健一郎・上野勝美・鎌田祥仁・原英俊・藤川将之・Titima Charoentitirat・Punya Charusiri・Vichai Chutakositkanon

**P-94** 小断層から推定される天草上島地域の新生代構造発達史, 藤内智士・芦寿一郎

**P-95** GPS観測と小断層解析を用いた応力変遷: 北海道北部幌延地域の例, 常盤哲也・浅森浩一・石井英一・舟本泰智

**P-96** ヘリウム同位体による未知の活断層の検出, 梅田浩司・二ノ宮 淳

**P-97** 横ずれ断層の変位に伴う岩盤の3次元変形過程〜ヘリウムX線CTを用いた断層変位実験による検討〜, 上田圭一

**P-98** 四国西部, 白亜系和泉層群の堆積盆形成に関する擬モデル実験, 和田達也・宮田隆夫

**P-99** 六甲山地東部・芦屋断層から分岐する八幡谷断層とそれに沿う堆積物の分布, 甲藤寛之・宮田隆夫

**P-100** 京都府北部, 上林川断層の新时期活動, 山根博・岩森晁如・玉田潤一郎・金谷賢生・亀高正男・梅田孝行・斉藤 勝・松場康二・東 篤義・杉森辰次・魚住誠司・松井和夫・桑島靖枝

**P-101** 南〜中央アルプス横断地震探査による中部日本地殻構造解明中間報告(1): 外帯, 村田和則・駒田希充・早川 信・津村紀子・狩野謙一・佐藤利典・宮内崇裕・小嶋 智・岩崎貴哉・池田

安隆・佐藤比呂志・阿部信太郎・三宅康幸・大塚 勉・山北 聡・深畑幸俊・河本和朗・金田平太郎・溝畑茂治・阿部 進

**P-102** 南〜中央アルプス横断地震探査による中部日本地殻構造解明中間報告(2): 内帯, 駒田希充・早川 信・村田和則・津村紀子・狩野謙一・佐藤利典・宮内崇裕・小嶋 智・岩崎貴哉・池田安隆・佐藤比呂志・平田 直・阿部信太郎・三宅康幸・大塚 勉・山北 聡・深畑幸俊・河本和朗・金田平太郎・川中 卓・須田茂幸・溝畑茂治・阿部 進

**P-103** 木曾山地東麓駒ヶ根地域における大規模断層破砕帯, 山田 友

**P-104** 新潟県中越, 宮沢ルートにおける鳥越断層露頭の構造解析, 田中麻衣・小林健太

**P-105** 北上山地古期岩類のLA-ICP-MS U-Pbジルコン年代, 下條将徳・大藤 茂・吉松一橋・柳井修

(定番) ノンテクトニクス構造

**P-106** メタコンハイトレートを疑わせる変形構造と脱水構造, 佐々木政和・宮田雄一郎

**P-107** 岩手・宮城内陸地震の荒砥沢ダム崩壊の偏光顕微鏡写真分析, 大角恒雄

(定番) 変成岩とテクトニクス

**P-136** 四国中央部, 三波川変成帯中の五良津西部岩体エクロジヤイトの変成作用, 平下奈奈・高須 晃

**P-137** 四国中央部別子地域三波川変成帯五良津東部岩体の変成P-T経路, 岡本康重・高須 晃・櫻井剛

**P-138** 四国三波川帯・西五良津岩体のP-T-t経路: タクタイトを含む鉱物共生からの制約, 遠藤俊祐・ウオリス サイモン

**P-139** 四国新宮地域に産する地殻-マントル捕獲岩から読み取るユーラシア大陸東縁の熱構造, 水上知行

**P-140** 三波川帯・汗見川地域の大規模褶曲, 森宏・ウオリス サイモン

**P-141**

\*シンポジウムの講演には (SP), トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がついています。\*講演タイトルにはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

下松～柳井地域の領家変成帯の変成分帯と温度 圧力条件、菅原 雄・池田 剛	<b>P-142</b> 山鹿はんらいの岩体の構成岩類とその化学組成、 宮本知治・榎原 彩	<b>P-143</b> 月蔵山変成岩、小野 晃	<b>P-144</b> 磁気ダイポール異常を示す西南日本外帯蛇紋岩 の組織と磁気特性、山口はるか・平内健一・木 戸ゆかり	<b>P-145</b> 東南極リュッツホルム岩体超塩基性岩のザクロ 石-普通角閃石コロナ、池田 剛	<b>P-146</b> 南インドMadurai岩体北部に産出する含コラン ダム黒雲母片麻岩の温度圧力履歴、角替敏昭・ 西宮ゆき・M. Santosh	<b>P-147</b> 南インドMadurai岩体北部の高度変成岩にみら れるコロナ組織；高圧変成作用からの減圧の証 拠、清水恒子・角替敏昭・M. Santosh	<b>P-148</b> 南インドのゴンドワナ縫合帯の沈み込み-大陸 衝突過程、佐藤 桂・M. Santosh・角替敏昭・ 平田岳史	<b>P-149</b> チエココ共和国・ボヘミア山塊の藍晶石エクロ ジャイト中のS <sub>2</sub> 硫酸化物、中村大輔・小林記 之・スフオイッカ マルチン・平島崇男	<b>P-150</b> コクテュエフ超高压変成炭酸塩岩中のダイヤモ ンド包有ザクロ石の顕微ラマンマッピング、寺 林優・佐藤秀一・岡本和明・小澤大成	<b>P-151</b> 北アメリカ南西部Knippa及びKilbourne Hole かんらん岩捕獲岩の構造岩石学的特徴、佐津川 貴子・道林克禎・Stern Robert J.・Raye Urmidola・Anthony Elizabeth Y.	<b>P-152</b> 地殻流体からのシリカ鉱物析出速度、最首花 恵・岡本 敦・平野伸夫・土屋範芳	<b>P-153</b> 高温高压実験による石英の結晶成長過程の研 究、井元 恒・道林克禎	<b>P-154</b> 低温型・高温型蛇紋石の相対強度実験、平内健 一・片山郁夫
---	---	-----------------------------	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---	---

<b>P-183</b> 透水部の連続方向の推定；北海道北部、幌延地 域の珪質泥岩の例、右井英一・平賀正人・藪内 聡・横田秀晴・古澤 明	<b>P-184</b> 浅層ボーリング孔で観測された地下水位と地質 構造の地下水流動への影響に関する一考察、横 田秀晴・山本陽一・前川恵輔	<b>P-185</b> 湖沼性鳥趾状デルタから破堤ロープを伴うベッ ドロ-下河川への変遷；京都南部、木津川下流 域の地表・地下地質の解析、伊藤有加・増田富 士雄	<b>P-186</b> 地中レーダーで甲陽断層に沿う旧河川のオフセッ トをさぐる、平井絢子・宮田隆夫・苦瓜泰秀 士雄	<b>P-187</b> 埼玉県芝川低地の沖積層層序、小松原純子・中 島 礼	<b>P-193</b> ため地底質に含まれる球状炭化粒子を用いた大 気汚染履歴の解明、加藤孝和・金井篤史・北瀬 (村上) 晶子・香村一夫	<b>P-194</b> デジタルX線センサーを利用した密度解析、宮 地良典・稲崎富士・中西利典・田辺 晋	<b>P-195</b> 野尻湖柱状試料の粒度プロファイルから見た湖 水面変動、中村祐貴・井内美郎・中西俊貴・瀧 口 健・青木優作・近藤洋一・井上卓彦・菅井 一磨	<b>P-196</b> 琵琶湖湖底表層堆積物の生物源シリカ含有率か ら復元した過去の気候変動、中西俊貴・井内美 郎・岩本直哉・相沢育美・天野敦子	<b>P-197</b> 鳥根県大橋川における現生底生有孔虫群の分布 と兵道湖-中海水系の同化石群への適用、高田 裕行・瀬戸浩二・倉田健悟・野村律夫・Boo- Keun KHHM	<b>P-198</b> 三重県志摩半島における古津波堆積物調査、藤 野滋弘・木村治夫・兵倉正展・小松原純子・澤 井祐紀・行谷佑一	<b>P-199</b> 松山平野下の第四系上部に挟むる火山灰質堆 積物中の火山ガラスの化学組成、高倉清香・榊 原正幸	<b>P-200</b> 1792年島原変成津波がもたらした環境インパク ト、市原季彦・下山正一
---	---	---	--	--	--	---	---	--	---	--	--	--

**P-201**

石英中の不純物中心のESR信号を用いた風送塵  
起源地の分別、豊田 新・山本裕哉・磯崎裕  
子・Youbin Sun・多田隆治・長島佳菜・合  
篤史・五十嵐康人

(定番) 第四紀地質

(定番) 応用地質学一般

※シンポジウムの講演には (SP), トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

<p><b>SP-4 (招待)</b> (シンポ) 都城秋穂追悼 都城秋穂氏, 自らを語る, 林 衛</p> <p><b>SP-5</b> 都城博士とアパラチア造山帯, 宮下 敦・大森 聡一・林 衛・横山一己</p> <p><b>SP-6</b> Adirondack巨晶ざくろ石角閃岩中のジルコン, 大森聡一・佐藤 桂・山本伸次・宮下 敦・林 衛・丸山茂徳</p> <p><b>P-2</b> (トピック)「ちきゅう」による南海トラフ掘削の成果 井内浦および海山観測井コアをきける断層面を用いた応力場変遷, 大坪 誠・重松紀生・北川有一・小泉尚嗣</p> <p><b>P-3</b> (トピック) IBMの発生と進化 マリアナ海溝南部陸側斜面のかんらん岩の構造と岩石学的特徴, 上原茂樹・道林克嶺・小原泰彦・石井輝秋</p> <p><b>P-4</b> マリアナ弧蛇紋岩海山から産出される蛇紋岩化したかんらん岩の構造解析, 藤井彩乃・道林克嶺・石井輝秋</p> <p><b>(定番) 碎屑物組成・組織と続成作用</b></p> <p><b>P-48</b> 後期古生代火成弧の削剥レベルの指標としての光学的異方性を示す碎屑性Ca<sub>2</sub>SiO<sub>4</sub>石, 竹内 誠</p> <p><b>P-49</b> ベルム紀付加体砕層岩の後背地と堆積環境: 秋吉帯姫川コンプレックスの例, 松澤 希・竹内 誠</p> <p><b>P-50</b> 和泉層群南部相名手累層の堆積相と砂岩組成, 米谷奈々・前島 涉</p> <p><b>P-51</b> (定番) 炭酸塩岩の起源と地球環境 最古のコケムシ礁が示す微生物礁から後生動物礁への転換, 足立奈津子・江崎洋一・劉 建波</p> <p><b>P-52</b> 淡水成ストロモトライトに見られる光合成誘導方解石沈殿, 白石史人</p> <p><b>P-53</b> クリスタルガイザーの縞状トラバーチン, 奥村知世・高島千鶴・狩野彰宏・嶋本利彦</p> <p><b>P-54</b></p>	<p><b>P-68</b> ボーリングデータに基づく完新世パリアシテムの復元, 須藤雄介・安藤寿男・七山 太・熊崎農夫博・重野聖之・嵯峨山積</p> <p><b>P-69</b> 暴良性の波が作る海岸地形を再現する水路実験: 底質の粒度分布の特徴的分析, 谷口圭輔・福井康至・田村 亨・増田富士雄</p> <p><b>P-70</b> 紀伊半島西部和歌山県広田町の有田層に見られるストーム堆積物, 井出祐介・前島 涉</p> <p><b>P-71</b> 清水海岸沿岸域における土砂移動の季節特性, 吉河秀郎・根元謙次</p> <p><b>P-72</b> メガトレンチ掘削による津波痕跡調査と予察的成果, 重野聖之・石井正之・七山 太・古川竜太・猪熊樹人・中川 充</p> <p><b>P-73</b> 堆積構造と組織からみられた火砕流の堆積様式, 宮田雄一郎・松尾征二</p> <p><b>P-74</b> 複数の手法による未固結堆積物の古流向解析の例, 安江健一・郷津知太郎・柳田 誠</p> <p><b>P-75</b> 玉湯川三角州の湖底地形・湖底堆積物とその時間変化, 酒井哲弥・三井恵輔・山口勝範</p> <p><b>P-76</b> 野尻湖表層堆積物の粒度及び元素濃度分布, 菅井一磨・滝口 健・青木優作・中西俊貴・井内美都・近藤洋一・公文富士夫・井上卓彦</p> <p><b>P-77</b> 二次元水路実験で生成するオートジュエックな平衡河川, 武藤鉄司・キム ウォンスク・パークー ゲイリー</p> <p><b>P-78</b> 河道屈曲点と河床勾配急変域の関係, 坂本隆彦</p> <p><b>(定番) 石油・石炭地質学と有機地球化学</b></p> <p><b>P-79</b> 新潟県東頸城丘陵西縁部の地質構造, 松永絹子・遠藤 晋・大竹正巳・百瀬 敦・満田信一</p> <p><b>P-80</b> 紀伊半島鳥島羽地域の蛇紋岩マイロナイトの変形微小組織, 曾田祐介・太田 亨・岡崎一浩・巽田善幸</p> <p><b>P-81</b> 岸和田地域の領家帯内部剪断帯, 河合マイロナイトの変形組織と変形条件, 坂部達哉・石井和彦</p>
---	--

<p><b>P-82</b> 伊豆-小笠原弧衝突域に分布する新第三紀花崗岩類中のマイクログラックを用いた広応力場の復元とその変遷, 原田 尚・高木秀雄</p> <p><b>P-83</b> 岩石の粘弾性構成則に基づき余効すべりの時系列パターンへの解析, 長濱裕幸・川田祐介・内田直希・松澤 暢</p> <p><b>P-84</b> 粉砕起源シェードクマクライトに発達する高速すべり面および低速すべり面の微細組織: サブミクロン粉砕粒子の形状に基づき判定, 小澤佳奈・滝沢 茂</p> <p><b>P-85</b> 岩石の熱伝導率測定, 多田井 修・林 為人・谷川 亘・廣瀬丈洋・山口飛鳥・坂口真澄</p> <p><b>P-86</b> セン断破壊変形に伴う弾性波速度の変化, 坂口真澄・谷川 亘・廣瀬丈洋・多田井 修</p> <p><b>(定番) 付加体</b></p> <p><b>P-87</b> 北部秩父帯の変玄武岩から発見された地殻内微生物化石, 榊原正幸・菅原久誠・辻 智大・池原 実</p> <p><b>P-88</b> 岡山県西部ベルム紀前〜中期変玄武岩に産する微生物変質様組織および炭素同位体比, 菅原久誠・榊原正幸・池原 実</p> <p><b>P-89</b> 関東山地の秩父帯, 四万十帯付加コンプレックス境界, 原 英俊</p> <p><b>P-90</b> 足尾帯ジュラ紀付加体におけるユニット境界断層の性状とその地質学的意義, 鈴木孝明・鎌田祥仁</p> <p><b>P-91</b> 流体包有物によるメランジュ形成時・形成後の温度・圧力条件の推定の試み〜ジュラ紀付加体玖珂層群の例〜, 鎌田祥仁・森岡順子・森宏</p> <p><b>P-92</b> 付加体構造における応力分布の動的変化, 宮川歩夢・辻 健・山田泰広・松岡俊文</p> <p><b>(定番) 噴火と火山発達史</b></p> <p><b>P-121</b> 阿武火山群, 伊良尾火山の火山噴出物の特徴, 堀川義之・永尾隆志・清杉孝司</p> <p><b>P-122</b> 室生火砕流堆積物基底相の到達範囲, 佐藤隆春・茅原芳正・山本俊哉・古山勝彦・別所孝範</p>	<p><b>P-82</b> ボーリングデータに基づく完新世パリアシテムの復元, 須藤雄介・安藤寿男・七山 太・熊崎農夫博・重野聖之・嵯峨山積</p> <p><b>P-69</b> 暴良性の波が作る海岸地形を再現する水路実験: 底質の粒度分布の特徴的分析, 谷口圭輔・福井康至・田村 亨・増田富士雄</p> <p><b>P-70</b> 紀伊半島西部和歌山県広田町の有田層に見られるストーム堆積物, 井出祐介・前島 涉</p> <p><b>P-71</b> 清水海岸沿岸域における土砂移動の季節特性, 吉河秀郎・根元謙次</p> <p><b>P-72</b> メガトレンチ掘削による津波痕跡調査と予察的成果, 重野聖之・石井正之・七山 太・古川竜太・猪熊樹人・中川 充</p> <p><b>P-73</b> 堆積構造と組織からみられた火砕流の堆積様式, 宮田雄一郎・松尾征二</p> <p><b>P-74</b> 複数の手法による未固結堆積物の古流向解析の例, 安江健一・郷津知太郎・柳田 誠</p> <p><b>P-75</b> 玉湯川三角州の湖底地形・湖底堆積物とその時間変化, 酒井哲弥・三井恵輔・山口勝範</p> <p><b>P-76</b> 野尻湖表層堆積物の粒度及び元素濃度分布, 菅井一磨・滝口 健・青木優作・中西俊貴・井内美都・近藤洋一・公文富士夫・井上卓彦</p> <p><b>P-77</b> 二次元水路実験で生成するオートジュエックな平衡河川, 武藤鉄司・キム ウォンスク・パークー ゲイリー</p> <p><b>P-78</b> 河道屈曲点と河床勾配急変域の関係, 坂本隆彦</p> <p><b>(定番) 石油・石炭地質学と有機地球化学</b></p> <p><b>P-79</b> 新潟県東頸城丘陵西縁部の地質構造, 松永絹子・遠藤 晋・大竹正巳・百瀬 敦・満田信一</p> <p><b>P-80</b> 紀伊半島鳥島羽地域の蛇紋岩マイロナイトの変形微小組織, 曾田祐介・太田 亨・岡崎一浩・巽田善幸</p> <p><b>P-81</b> 岸和田地域の領家帯内部剪断帯, 河合マイロナイトの変形組織と変形条件, 坂部達哉・石井和彦</p>
---	--

※シンポジウムの講演には (SP), トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

MEMO

**P-123**  
阿蘇カルデラ北方におけるAso-4火砕流ユニットの再定義, 松尾征二・堀川義之

**P-124**  
(定番) 深成岩・火山岩  
兵庫県篠山地域の白亜紀アダカイト質安山岩, 平松 圭・今岡照喜・大平 武・亀井淳志・板谷徹丸

**P-125**  
マラカント超苦鉄質岩体, 佐野 栄

**P-126**  
舞鶴帯夜久野岩類の岩石学的特徴: 舞鶴帯および夜久野オフロイトの造構史に関する試論, 岡田祥光・早坂康隆・伏木 治

**P-127**  
大分県竹田市東部に分布する鬼界アカホヤ火山灰の岩石学的研究, 遠藤晴美・榊原正幸

**P-128**  
阿蘇火山Aso-4火砕流 弁利スコリア流におけるマグマ供給系, 大鹿淳也・荒川洋二・新村太郎

**P-129**  
大崩山火山深成複合岩体を構成する環状岩脈の帯磁率異方性, 金丸龍夫・高橋正樹

**P-130**  
北部北海道, 中期～後期中新世フェルシックス火山岩におけるSr-Nd同位体比組成の多様性, 高梨幸志郎・周藤賢治

**P-131**  
中央北海道南部の漸新世火山岩の岩石学的特徴, 岡村 聡・米島真由子・前田卓哉

**P-132**  
中国バソリスと北九州バソリスの比較研究, 長松 雄, 今岡照喜・亀井淳志

**P-133**  
日高変成帯のI-タイプトータル岩マグマの起源に関する新知見, 小島 萌・志村俊昭

**P-134**  
背弧域上部マントル融解プロセス: 韓国Chugaryong火山, 榑山徹也・常 青・長岡信治・小澤一仁

**P-135**  
Ar-Ar年代に基づく中部地方白亜紀～古第三紀火成岩体の定置年代の再検討, 榑瀬充史・曾根原崇文・原山 智・小井土由光

**P-173**  
(定番) 環境地質  
重金属からみた河川底質物の環境地球化学, 松本一郎・Dennis Hoffman・Jason McAlister・June Wolfe・石賀裕明

**P-174**  
摺上川ダム建設によって発生した水質変化, 難波謙二・芳賀智也・岸波晃代

**P-175**  
那須塩原地下水水質の季節変化, 田村壮礼・難波謙二・皆川絵梨

**P-176**  
天然ガス(上ガス)の噴出する海浜の潮溜まりの白濁現象の機構解明, 吉田 剛・風岡 修・古野邦雄・楠田 隆・香川淳・酒井 豊

**P-177**  
高レベル放射性廃棄物処分に対する隆起・侵食に起因する影響評価の検討, 川村 淳・江橋 健・牧野仁史・稲垣 学・柴田雅博

**P-178**  
中海浚渫地に見られるイベント堆積物, 一宮大和・井内美郎・柳野勝史・山崎泰弘・三瓶良和・徳岡隆夫・天野敦子

**P-179**  
海砂採取後海域の海底環境変化-愛媛県大三島南方海域-, 井手直道・天野敦子・岩本直哉・中西俊貴・井内美郎

**P-180**  
長崎県大村湾における過去約150年間の底生有孔虫と貝形虫の時系列変化, 牧野美里・入月俊明・野村律夫・河野重範

**P-181**  
荒砥沢ダム上流域の大規模すべりの地すべり史的発生要因, 川辺孝幸・風岡 修・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・古野邦雄・吉田 剛

**P-186**  
(定番) 地学教育・地学史  
海洋研究を理科教育に活かす教員研修について, 田口康博・川村教一・吉澤 理

※シンポジウムでの講演には (SP), トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

<p>(シンポ) 中国地方の新生界の諸問題 SP-1 西南日本前弧域の伸張・隆起テクトニクス、高橋雅紀 (シンポ) Geotectonic subdivision and evolution of the Japanese Islands (日本列島構造発達史) SP-2 Subduction erosion could represent rearrangement rather than removal of forearc materials: Insights from geology in central Hokkaido, Japan. Hayato Ueda (シンポ) A special symposium to honor Shouhei Banno (坂野昇平追悼シンポ) SP-3 Solubility of Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> in Al<sub>2</sub>SiO<sub>5</sub> minerals. Kawasaki Toshiyuki・Shirakawa Chie・Nakaku Michiko・Ishizuka Hideo P-34 新潟堆積盆七谷層中に見つかった中期中新世広域テフラ。工藤 崇・檀原 徹・岩野英樹・山下 透・柳沢幸夫 P-35 岐阜県瑞浪地域に分布する中部中新統瑞浪層群生炭層の珪藻化石年代の再検討。河邑圭太・須藤 賢・柳沢幸夫 P-36 北海道上部白亜系放射散化石層序の再検討。小安浩理・平野弘道 (定番) 海洋地質 P-37 非造礁性単体六射サンゴ骨格の同位体・微量元素分析。垣内一秀・大森一人・江崎洋一・渡邊剛・徳田悠希 P-38 陸棚堆積物と珪藻化石からみられた最終氷期以降の常磐沖古海洋変遷。畑中 彩・石田 桂・保柳康一・長橋良隆・柳沢幸夫 P-39 東地中海の高塩水湖 (Meedee Lake) の堆積古環境。泉谷直希・村山雅史・佐川拓也・朝日博史・中村恭之・白井正明・芦寿一郎・徳山英一・北里 洋 P-40 北海道西方、石狩湾～後志トラフの堆積作用 片山 肇・井内美郎・池原 研 P-41</p>	<p>北海道太平洋側海域における現世堆積作用。野田 篤・片山 肇 P-42 相模湾西部根府川、白糸川河口周辺海域で観察された地すべり地形。根元謙次・坂本 泉・滝野義幸・吉河秀郎・藤巻三樹雄・奈良宏平・椎野紗和日・佐藤弘弥・山本聡一・作田理香・高田真之介・斎藤靖二・平田大二・山下浩之・井田秀一・石浜佐栄子・小田原啓 P-43 放射法地層学による麓野トラフの泥火山と周辺堆積盆の地質構造。谷岡 慧・中村恭之・三澤文慶・芦寿一郎 P-44 四国沖表層堆積物の堆積学的研究。坂 耕多・豊村克則・村山雅史・成田尚史・加藤義久 P-45 マンガンクラストの成長過程。白井 朗・田中真理子 P-46 南西インド洋海嶺Prince Edward断崖沿いのかんらん岩礫岩の形成年代と岩石組成。佐藤一暢・森下知見・田村明弘・朝日博史・佐藤太一 P-47 MR09-02, KY07-05航海におけるピストンコアラ一性能向上試験の成果。竹友祥平・佐藤悠介・橋本泰志・松浦由孝・林 央之・畠山 映 (定番) 古生物 P-108 石狩湾沿岸に漂着した暖流系貝類。鈴木明彦・志賀健司 P-109 現世Macaronichnus生痕：その地質学的意義。清家弘治 P-110 関東平野のボーリングコアにおける化石珪藻Lancineis sp.の分布。納谷友規・八戸昭一・水野清秀 P-111 マレ一半島沿岸クロントムの河口域における貝形虫の分布と過去10年間の変化。石田 桂・寺倉雅美・塚脇真二・橋詰朝美 P-112 菊川市潮海寺の満水層産軟体動物化石とその古生物地理学的意義。井上恵介・大江文雄 P-113 獸脚類足跡化石に基づくモンゴル産ティラノサウルス類Tarbosaurus bataarの後肢足骨骨格の復元。松本幸英・石垣 忍 P-114 モンゴル南ゴビ県Uddyn Sayr地域上部白亜系産</p>
--	--

※シンポジウムの講演には (SP)、トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がつけられています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

<p>角竜類プロトケラトプス類の形態。半田直人・松本幸英・渡部真人・鈴木 茂・仲谷英夫 P-115 X線CTによる浮遊性有孔虫の内部構造と三次元形態計測。遠藤孝義・佐々木 理・岩下智洋・尾田太良・長濱裕幸 P-116 新潟県新発田市の鮮新統鏡江層の貝形虫および浮遊性有孔虫化石群集による古環境の復元。後藤隆嗣・入月俊明・林 広樹 P-117 鮮新統宮崎層群佐土原層最上部の微化石群集による堆積年代と古環境村井絢有・入月俊明・岩谷北斗・林 広樹・田中裕一郎 P-118 佐賀県唐津地域の杵島層産古第三紀翼足類。安藤佑介 P-119 生痕化石ロッセリアが記録する古環境情報。奈良正和 P-120 モンゴロ上部白亜系から初産出の花粉・胞子化石群集。梅津慶太・実吉玄貴・鈴木 茂・渡部真人 (定番) 岩石・鉱物・鉱床学一般 P-155 北アルプス、仁科山地に見られるAタイプ花崗岩。植木忠正・原山 智 P-156 西南日本弧黒瀨マンデル補獲岩でのマンデル交代作用に関連したメルト・流体の特徴。芳川雅子・荒井章司・田村明弘 P-157 島根県中央部大田市仁万地域のゼオライト化変質。大平寛人・藤田祐介 P-158 嶺岡・瀬戸川帯の碎屑性蛇紋岩礫及び粒子の岩石学的性質。高橋直樹・荒井章司 P-159 四国中央部別子地域三波川帯：アラゴナイトとオンファース輝石を含む変泥質岩の産出とエクロジャイトユネットの広がりについて。額綱佑衣・榎並正樹 P-160 大江山オフロイトの超苦鉄質マイロナイトと“cleavable olivine”。野坂俊夫・伊藤友紀 P-161 滋賀県南部・田上花崗岩体中のMME。大橋義也・中野聡志・石原舜三 P-162 北アルプス、上高地における滝谷花崗閃緑岩体</p>	<p>中の暗色包有岩の記載岩石学的特徴と産状。加茂圭祐・原山 智 P-163 ロシア極東、ウスチベラヤ・オフイオライトの超苦鉄質岩中の角閃石。町 澄秋・石渡 明・早坂康隆・Ledneva Galina・Sokolov Sergei・Palandzhyan Suren・Bazylev Borys・森下知見 P-164 CL分光分析による火星隕石 (Dhofar 019) 構成鉱物の衝撃変成評価。西戸裕嗣・鹿山雅裕・仲里肇洋・蜷川清隆 (定番) 情報地質 P-165 小豆島の花崗岩の<math>\gamma</math>線スペクトロメトリー。野村香織・能美洋介・西村敬一 P-166 衛星データをを用いた簡便な解析による堆積盆抽出の試み。鎌滝孝信・立石 良・安江健一 P-167 5万分の1シームレス地質図の展望。井川敏恵・脇田浩二・尾崎正紀 P-168 Web-GISによる3次元地質モデリング-ボーリングデータを用いた大阪平野西部表層部の例-。生賀大之・升本真二・櫻井健一・三田村宗樹・塩野清治・野々垣進・サラウット ニンサワット・岩村里美 P-169 地層名検索データベースの構築。巖谷敏光・鹿野和彦・中野 俊・松浦浩久・中江 訓・原英俊・宮崎一博・長谷川功・高橋 浩・西岡芳晴・尾崎正紀 P-170 自律成長する持続可能な大規模地球科学知識基盤の開発・整備計画。伏島祐一郎 P-171 石狩低地における地盤ボーリングデータベースの構築。廣瀬 亘・川上源太郎・大津 直・木村克己・佐藤 明 P-172 関数表現した地形面・地質境界面にもとづく地質境界線の探索。野々垣 進・升本真二・塩野清治 (定番) 地学教育・地学史 P-187 全国の高等学校における地学開講状況の変化2 (1999-2008)。柴山元彦 P-188 非火山地域における火山教育-文科大学の</p>
---	--

■9月6日（日）コアタイム 13：00-14：00-13：30 25号館4Fまたは8Fポスター会場

例一、古川邦之・山田明季

P-189

産総研地質調査総合センターによるAPEC国際  
研修コース2008「都市と沿岸域の防災」。森田  
澄人・高田 亮・脇田浩二

P-190

ジオトトレイルー岡山県立自動会館，地学公園で  
の教育普及効果について。鈴木寿志・市川健  
吾・溝口昭子・能美洋介・郷津知太郎

P-191

地域振興を目標とした地質観光情報の開発と利  
用の試みー茨城ジオパーク設立を目指してー。  
滝本春南・細井 淳・小山剛平・伊藤太久・松  
原典孝

## MEMO

※シンポジウムの講演には (SP)、トピックおよび定番セッションの講演には (P) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上一部略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

## ■ ランチョン ■

都合により急遽会場が変更になる場合もございますので、会期中の掲示にご注意下さい。

### 9月5日（土）12：00-13：00

会場44 地域地質部会・層序部会合同（世話人 吉川敏之）部会活動や世話人体制についての議論と情報交換

会場43 火山部会（世話人 石塚吉浩）定例会合

会場31 これからの男女共同参画（世話人 堀 利栄）日本地質学会における女性会員数は増加傾向にありますが、まだまだ常勤職および上級職についている女性研究者の割合は低いままです。これからの男女共同参画活動はどのようにあるのがよいのか？ 皆さんのアイデアや要望をぜひお聞かせいただけませんか？ また、若い女性研究者の皆さん、普段困っていることはありませんか？ 先輩の知恵や経験に解決策があるかもしれません。昼食を食べながら、これらの問題について皆で一緒に考えてみませんか？ ぜひ気軽にご参加ください。お子様連れも大歓迎です。学会における女性研究者のネットワークの形成と今後の男女共同参画のあり方について話し合う予定。

会場 41 構造地質部会（世話人 松田達生・大坪 誠）定例会合

会場 42 地方地質誌編集委員会

会場 55 Island Arc編集委員会（世話人 竹内圭史）Island Arc誌の編集に関する打合せ

### 9月6日（日）12：00-13：00

会場43 地学教育委員会（世話人 矢島道子、中井均、藤林紀枝）地学教育に関係する諸事項について報告、議論する。

会場41 岩石部会（世話人 片山郁夫）定例会合

会場42 地質学雑誌編集委員会（世話人 久田健一郎）

会場51 堆積部会（世話人 小松原純子）定例会合

会場52 古生物部会（世話人 北村晃寿）定例会合

会場54 海洋地質部会（世話人 徳山英一・片山 肇・芦 寿一郎・小原泰彦）海洋地質部会の活動に関する議論と情報交換

## ■ 夜間小集会 ■

都合により急遽会場が変更になる場合もございますので、会期中の掲示にご注意下さい。

### 9月5日（土）18：00-20：00

会場44 南極地質研究委員会（世話人 本吉洋一）第50次（2008/09）セールロンダーネ山地地質調査報告/第51次（2009/10）観測計画と新南極観測船「しらせ」の概要/第52次（2010-）以降の調査計画について/委員の交代について/その他

会場43 沖積層研究の新展開（世話人 卜部厚志・木村克己・岡孝雄）国内の沿岸低地や内陸部の沖積層に関する研究動向について、話題提供や意見交換を行う。

会場31 考古学への地質学の貢献（9）本邦「地考古学」の問題点（世話人 渡辺正巳・松田順一郎・趙 哲済・井上智博・別所秀高・小倉徹也）松田順一郎・趙 哲済による「ジオアーケオロジーの視点」、「地考古学」の問題点についての講演と討論の予定

会場41 地質学史懇話会（世話人 会田信行・金 光男）地質学史に関する講演2題

会場42 構造地質学の今後の課題（世話人 松田達生・大坪 誠）構造地質学のこれからのことについて話題提供をいただき、今後の展望に関して参加者間で議論します。

会場51 海跡湖に記録された汎世界的な環境変動と人為的環境変化に関する研究小集会（世話人 瀬戸浩二・高田裕行・廣瀬孝太郎）本集会は、地質学的手法を用いて海跡湖群における近過去の古環境変遷の研究を行うための情報交換会である。

会場52 【ジュラ系+】の集い（世話人 松岡 篤・小松俊文・近藤康生・堀 利栄・尾上哲治・石田直人）ジュラ系の階境界のGSSP設定の状況および世界のジュラ系研究の動向について情報交換を行う。

会場54 環境地質部会（世話人 田村嘉之・風岡 修）環境地質部会の定例会合（講演含む）

会場55 地質学会若手の集い（世話人 大坪 誠・山口飛鳥・山口直文・大橋聖和・池田昌之）若手の交流の場の提供と地球科学研究の今後の展望について参加者で議論します。

試写室 教員養成と地学教育（世話人 藤林紀枝・中井 均・七山 太）教員養成大学・学部の情報交換と、学校教育の地学領域のこれからのあり方について討論することを目的とし、これらの話題に興味のある会員の参加を歓迎する。

### 9月6日（日）17：30-19：00

会場51 炭酸塩堆積学に関する懇談会（世話人 山田 努・松田博貴）炭酸塩堆積学に関する最近の話題・トピックスについて討論するとともに、最新研究動向・情報について意見交換を行う。

会場52 後期中新世南西アジアの環境変動と哺乳類動物相変遷（世話人 仲谷英夫）後期中新世の環境変動と類人猿を含む哺乳類動物相変遷についてイランマラゲの調査で明らかできることは？

## ■ 関連行事 ■

### 特別講演会 「地質学と医学の融合 ―癌発生のメカニズム―

中村栄三（岡山大学地球物質科学研究センター）

日時：9月4日（金）13：30～14：30

会場：ホール（岡山理科大学25号館8階）



日本地質学会学術大会116年の歴史の中で岡山地区開催は初めてです。タイムリーにも表層地質学を出発点に地球惑星科学研究を始めた岡山地区研究者が、癌発生メカニズムに関する新しいモデルを構築し論文を発表しました。本論文は体内での微量元素の濃縮過程とそれに伴う放射性元素による内部放射線被曝を明確に示す画期的なものです。世界が注目する研究内容であり、今後様々な方面で話題沸騰することが大いに期待される内容です。

最新の研究成果の紹介とともに、若い表層地質学研究者へのエンカレッジとなる講演を予定しています。

**【発表論文題目】** Accumulation of radium in ferruginous protein bodies formed in lung tissue: association of resulting radiation hotspots with malignant mesothelioma and other malignancies. Proc. Jpn. Acad., Ser. B 85 (2009), in press.

by Eizo NAKAMURA, Akio MAKISHIMA, Kyoko HAGINO and Kazunori OKABE

### 地質情報展2009おかやま ―ワクワク発見 瀬戸の大地―

日時：9月5日（金）～6日（日）10：00～17：00

（6日のみ16：00まで）（入場無料）

\* 4日（金）13：00～17：00に団体・プレス向けの内覧会を実施します。体験コーナーは、コーナー毎に開始・終了時間が異なります。

会場：岡山市デジタルミュージアム（岡山駅徒歩1分）

主催：独立行政法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター・日本地質学会・林原自然科学博物館

後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・香川県教育委員会・NHK岡山放送局・山陽新聞社・四国新聞社・岡山日日新聞社・中国地質調査業協会・四国地質調査業協会、（以下、申請中）岡山大学・岡山理科大学・香川大学

**展示テーマ（予定）：**岡山・香川の地質（瀬戸内地域の地質のまとめと大地のなりたち）、花こう岩の天然記念物と文化財、岡山県地盤図の紹介、高校生・大学生・高校教員による岡山・香川の地質の紹介、地下の恵み（金属鉱物資源、地下水）、瀬戸内海の環境・生物、ジオパークなど

**体験コーナー（予定）：**自分だけの化石レプリカを作ろう！ 足跡化石から恐竜の体を考えてみよう！ 石の楽器をたたいてみよう！ 石を割ってみよう！ 顕微鏡で石を観察してみよう！ 地層のできかたをみてみよう！ ペットボトルで地盤の液状化を再現！ マンガン団塊を採ろう！ パソコンで地学クイズにチャレ

ンジ！ キッチン火山実験 磯の生物に触ってみよう！ 自然の不思議「鳴り砂」

**講演会（予定）：**車窓からジオを楽しむ、寒川なまづ博士の地震と活断層の話

**特別展示：**

○**地学オリンピック：**国際地学オリンピックとは/日本地学オリンピックとは/第2回フィリピン大会の様子（昨年9月）/第3回台湾大会について（9/14-22）

写真などを使って地学オリンピックについてご紹介いたします。また過去の問題なども展示いたします。

○**地学教育委員会関連：**地学教育委員会の活動紹介/「小さなEarth Scientistのつどいー小・中・高校生生徒地学研究発表会ー」優秀ポスター（兵庫県立加古川東高校）/杉山了三会員の教育実践（県立宮古高校教諭，東レ理科教育賞・文部科学大臣賞受賞）

**ミニ講演会：**岡山のたたら，サヌカイトの石器，岡山の化石について

お問い合わせ先

地質調査総合センター地質情報展開催事務局

URL：[http://www.gsj.jp/Info/event/2009/johoten\\_2009/](http://www.gsj.jp/Info/event/2009/johoten_2009/)

e-mail：[g09okayama@m.aist.go.jp](mailto:g09okayama@m.aist.go.jp)

TEL：029-861-3754 Fax：029-861-3746

### ジオパークワークショップ： ジオパークによる地域活性化をめざして ―地域と地質学者の連携のあり方をさぐる―

日本地質学会ジオパーク支援委員会は、ジオパークによる地域活性化、Geoheritageの保全および地学の普及のために、地域の方々と地質学者がどのように連携して活動していけばよいかをさぐるために、ワークショップを開催します。本ワークショップでは、実際にジオパークの運営に携わる人と地質学会員が、各地の実践例の発表を元に、地域と地質学者の連携のあり方を議論します。発表者はジオパーク支援委員会が現在依頼中です。ジオパークに関心のある、行政担当者、地域の方、研究者などの皆様の参加を期待します。

日時：9月5日（土）13：00-17：30

場所：岡山市デジタルミュージアム4階

主催：日本地質学会ジオパーク支援委員会

共催：日本ジオパークネットワーク（予定）

後援：産総研地質調査総合センター

プログラム（予定、発表者は依頼中）

第一部 13：00- 日本初の世界ジオパークにおける実践例

第二部 14：45- 各地の実践例の発表と討論

お問い合わせ先：

日本地質学会ジオパーク支援委員会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル

TEL：03-5823-1150 FAX：03-5823-1156

e-mail：[main@geosociety.jp](mailto:main@geosociety.jp)

※なお、ご希望の地域には、9月5日10:00-12:00の日程で日本地質学会ジオパーク支援委員会によるジオパーク個別相談(事前予約制)を行いますので、上記連絡先までご連絡ください。

TEL: 03-5823-1150 FAX: 03-5823-1156  
e-mail: main@geosociety.jp

### 市民講演会 「大地から考える地球環境 —地質と生物・農業の深い関係—」

日時: 9月5日(土) 13:30~16:30 (入場無料・事前申込必要)  
会場: さん太ホール(岡山市柳町2-1-1, JR岡山駅から徒歩15分  
または、路線バス5分「山陽新聞社前」下車)

講演者と講演内容:

#### 「地質と生き物と人々の生活—ヨーロッパそして岡山の風景—」

波田善夫(岡山理科大学学長)

各地の森の様子やそこに生えている植物を調査しながら、その下の地形や地質との関係、森が育んだ地域の文化などを考えています。岡山の森や植生やそこに生きる生き物や人々と地形・地質との関係を、ヨーロッパの嶺を交えながらお話しします。

#### 「おいしいワインのできる畑の地球環境」

武田 弘(東京大学名誉教授)

世界の有名なワイン産地のぶどうとその畑の地質・土質・土壌・地形・気候との関係からはじめて、広く地球環境のお話をいたします。

座談会では、司会者も含め、地球環境問題や、農産物の安全問題などの最近の課題も含め、地質環境とそれとはぐくまれる植生・農産物、そしてそれに依存して生きる動物や人間との関連、文化、あるべき制度の問題などを大きな視点で論じたいと思います。

### 小さなEarth Scientistのつどい ~第7回 小、中、高校生徒「地学研究」発表会~

日本地質学会地学教育委員会では、地学普及行事の一環として、地学教育の普及と振興を図ることを目的として、学校における地学研究を紹介する「地学研究」発表会をおこなっています。岡山大会でも、小・中・高等学校の地学クラブの活動、および授業の中で児童・生徒が行った研究の発表を募集いたしました。会場は研究者も発表するポスター会場内に、特設コーナーを用意いたします。同時並行で研究者の発表も行われますので、児童・生徒同士のみならず、研究者との交流もできます。この会を通じて生徒、研究者、市民の交流が進み、地質学、地球科学への理解が深まって、未来を担う生徒たちの学習意欲への良い刺激と励みになることを願っております。

日時 9月6日(日) 9:00~16:00

場所 日本地質学会年会ポスター会場(25号館8F)

後援 秋田県教育委員会・秋田市教育委員会

参加校(7月10日現在) 岡山県立朝日高等学校・岡山県立林野高等学校・早稲田大学高等学院・兵庫県立加古川東高等学校・福岡県立八幡高等学校・伊勢市立五十鈴中学校

問い合わせ・申し込み先:

日本地質学会地学教育委員会(担当 三次)

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル6F

### 一般向け講演会 岡山で生まれた地球深部探査船「ちきゅう」の活躍

主催 海洋研究開発機構

共催 日本地質学会

日時: 9月6日(日) 午後

会場: 講演会場55(岡山理科大  
25号館5F)



岡山で誕生した地球深部探査船「ちきゅう」の南海トラフ地

震発生帯の掘削の成果と、今後「ちきゅう」を用いた掘削が予定されている「プロジェクトIBM(伊豆-小笠原-マリアナ)」や「モホール」は何を目指しているのか。岡山市民の方々にご紹介したいと考えています。

内容: 「ちきゅう」の概要、南海トラフ掘削成果速報、今後の計画のねらい、などを一般向け講演として行います。同会場の展示ブース(25号館1F)における展示内容(「ちきゅう」模型も展示予定)と連携した内容の講演を行います。